

就テハ右御含ノ上此ノ際峯ニ於テ交渉ヲ急キ我方先決問題  
ノ解決ヲ見サルニ先立チ利子ノ減免等ニ付「コンミット」  
スルコトナキ様峯ヲ指導方特ニ御配慮相成度  
張家口ヘ轉報アリ度シ

支、天津ヘ轉電セリ  
支ヨリ南京ヘ轉報アリ度シ

## 六 中国の欧米における財政的援助要請

### 1 棉麦借款問題

375 昭和8年6月5日 在米出淵大使より  
内田外務大臣宛(電報)

米國復興金融会社(RFC)と国民政府間に棉  
花および小麦の信用取引契約調印について

ワシントン 6月5日後発  
本 省 6月6日前着

第五三九號

曩ニ「レコンストラクション、ファイナンス、コルポレイ  
ション」ニ於テ小麦ノ對支輸出ヲ計ル爲支那政府ヘ信用供  
與案アリ(客年往電第四九六號及第五〇六號)又棉花ニ付テ  
モ同様ノ案アリタルカ支那政府提供ノ擔保方法ニ付問題アリ  
實現ニ至ラサリシ處其後大ニ議熟シ居リタル矢先宋子文  
ノ來華アリ話合ヒ頓ニ進捗シ宋ノ渡英直前RFCト國民政  
府間ニ棉花及小麦信用取引契約調印セラレタル旨四日RF

Cヨリ公表セラル右公表ニ依レハ契約ノ要點左ノ通り

一、支那ノ米國內ニ於ケル棉花及小麦ノ購入ヲ容易ナラシム  
ル爲RFCヨリ支那政府ヘ五千萬弗ノ額迄信用ヲ供與ス  
ヘシ右額ノ約五分ノ四ハ棉花(九十萬「ベールズ」見當)  
ノ購入ニ約五分ノ一ハ小麦及小麦粉(二千五百萬「ブツシ  
エルズ」見當)ノ購入ニ使用セラルヘク之レカ運搬ハ大體  
米國船ニ依ルヘシ

二、右ハ米國內市場ヨリ支那代表者ニ於テ購入セラルヘシ

三、信用ニ對スル擔保ハ一定數ノ支那國租稅(卷煙草、小麦  
粉、綿絲、燐寸、「セメント」等ニ對スル稅ヲ含ミ之等ノ  
租稅全體ニテ昨年中二千二百萬弗ノ收入ヲ舉ケタル由)  
ニ對スル「ファースト、チャージ」ヲ以テ之レニ充テR  
FCハ支那側カ倉庫ヨリ物品ヲ引出ス迄右物品ニ對シ  
「ウエーヤハウス、レシート」其他ノ書類ニ基キ留置權  
(lien)ヲ保有スヘシ支那側ハ物品ヲ倉庫ヨリ引出ス際代  
價ノ一割ヲ現金ヲ以テ支拂ヒ更ニ一割五分ヲ九十日以内

ニ残りノ七割五分ヲ三年間ニ支拂ヒ(利息ハ五分ニテ支那ハ米貨ヲ以テシ別ニ銀ニ依ル支拂ノ取極ナキ由)米國積出港ヨリノ運賃其他ノ諸掛ヲ負擔スヘシ

本件ハ緊急救済法案第二〇一條(C)(客年普通公第三九六號往信参照)ニ依ルRFCノ對外信用供與ノ最初ノ例トテ相當注意ヲ惹キ居レリ

376 昭和8年6月7日 在中国有吉公使より  
内田外務大臣宛(電報)

米中棉麦借款に関する中国紙報道について

上海 6月7日後発  
本省 6月7日後着

第三二四號  
米國ノ對支新借款ニ關シ

(一)當地外人方面ノ意見トシテ新聞ニ掲載セラレタル所左ノ通  
「棉花、

支那ノ需要ハ二十五萬「ベール」ヲ出テサレハ九十萬「ベール」ノ米棉ヲ支那市場ニ押付ケンカ市場ノ變動ヲ免レサルヘシ國內產原棉ハ「ピクル」五十元米棉ハ六十元

ヲ齎ササル可シ

(二)支那側意見

申報(七日)ハ財政部ニ於テハ本件借款ハ棉麥ノ不作ヲ救済シ人民ニ裨益スル所大ナリト稱シ居ル處本件ハ國家財政ノ根本方針ニ關係有ルヲ以テ最高行政機關ノ正式發表ヲ見ル迄差當リ之カ批評ヲ避ク可キモ小麥購入ノ點ノミニ就キテ見ルニ現ニ最モ救済ヲ必要トスルハ陝西省ナルカ同地ハ交通上小麥ノ運輸困難ナレハ之カ救済ノ爲ニハ先ツ米國產小麥ヲ開港地ニ於テ賣却シ之ヲ現金ニ代フル必要有ル處往年救済ヲ必要トセル長江地方ハ目下昨年來ノ農作ト外國產穀物ノ「ダンピング」ニ依リ價格ノ低落ニ惱ミ居ル實情ナリ吾人ハ本件借款其ノモノニハ反對セサルモ以上ノ考慮ヨリ若シ政府ニシテ借款ノ一部ヲ現金ニテ借受ケ豐作地方ノ餘剩品ヲ買上ケテ凶作地ノ救済ニ供シ得タランニハ一舉兩得ナリシナラント論シ

又當地支那紡績界重鎮胡○竊○ハ原綿ハ元々中國ニ於テ自給シ得ル處連年日本側ノ買占ニ依リ原料ノ不足ヲ來シタルノミナラス過日ノ紡績工場救済會議ニ於テ米棉ノ購入ヲ決定シ居タル際ナレハ米棉ノ輸入ハ何等影響無シ唯米

ナルヲ以テ米棉ハ採算上不利ナリ從テ斯ル多量ノ米棉ヲ支那市場ニテ消化スル爲ニハ輸入税引下ノ外方法ナカルヘシ

ニ小麥、

米國ハ餘剩小麥殆トナク支那ニ融通スルトセハ太平洋岸ニ過去二ヶ年餘放置シアル「ソフト、ホイート」ヲ以テ之ニ當ツル外ナカルヘキカ太平洋岸ノ小麥ハ從來英伊等ニ輸出セラレ居タルモ最近ハ關稅ノ關係上濠洲モノニ壓迫セラレ英國向輸出ハ杜絶シ伊太利向モ同國ノ輸入制限ニ遭ヒ輸出不可ノ狀態ナリ右ヲ米國船ニテ支那ニ輸入スルトセハ運賃モ嵩ミ品質モ低下スル結果(袋ヲ使用セサル爲)濠洲モノニ比シ高價トナルヲ以テ條件カ餘程有利ナラサル限り支那政府ハ一割乃至三割ノ損失ヲ負擔セサルヘカラス政府カ右ノ損失ヲ冒シテ之ヲ内地市場ニ賣捌ク場合ハ一般輸入業者ハ大打撃ヲ受ク可キカ然ラサル場合ハ惡影響ナシ新借款公表後市俄古上海市場共ニ影響ヲ見ス

三七日「イーヴニング、ポスト」紙「ウッドヘツド」ノ論評、支那政府カ本件小麥及棉花ヲ支那内地ニテ再賣却シテ得タル代金カ假令元價運送費及借款ノ利息ヲ「カヴァー」シ得ルトスルモ本借款ハ支那ニ取り結局何等實質的利益

棉一「ピクル」カ六十餘元ナルニ比シ支那棉ハ約四十六元ナレハ若シ財政部ニ於テ米棉ヲ八掛位ニテ賣出スニ於テハ華商方面ニテハ喜ンテ之ヲ購入ス可シ何レニセヨ之ニ依リ政府ハ巨額ノ資金ヲ調達シ得ルノミナラス假令八掛ニテ賣ルモ右ハ公債發行ヨリモ割良ク且又關稅收入ヲ増加シ得可シト述ヘ

又麥粉界ノ巨頭榮○敬○ハ近來麥粉ノ產額少ク殊ニ東北失陷後ハ原料更ニ缺乏シ全國ノ產額ニテハ僅カニ二、三箇月ノ需要ヲ充タシ得ルニ過キス從來ハ米國、濠洲ヨリ輸入シ居タルヲ以テ今回ノ米麥購入ハ何等影響無シト夫々新聞記者ニ語レル趣ナリ

北平、南京へ轉電シ上海へ轉報セリ

377 昭和8年6月7日 在シアトル内山(清)領事より  
内田外務大臣宛

棉麦借款の内容および問題点に関する新聞報道について

普通第二六八號 (6月23日接受)  
昭和八年六月七日

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

米國小麥及棉花對支輸出ニ關シR、F、C、ト支那側トノ協議成立ノ報道ニ關スル件

客年秋米國西北部地方ノ小麥對支輸出問題ニ關シレコンストラクシヨン、フィナンズ、コーポレーション(R、F、C)ヨリ生産業者ニ資金融通ヲ計ラントシタルカ却テ當業者ノ拒絕スル所トナレル次第及本問題ノ経緯等ニ關シテハ當時詳細電報及公信ヲ以テ報告シ置キタルカ新聞電報ノ傳フル所ニ依レハ先般宋子文ニ於テローズベルト大統領ト會商ノ結果米國棉花及小麥ヲ支那側ニ於テ買付ノ爲メ米貨五千萬弗ノ信用ヲ許容スルノ借款協議成立セルノ趣ニテR、F、C、委員長 Jesse H. Jones カ本月四日公表スル所ナリトテ小麥對支輸出問題ニ最モ關係アル當館管内スポークン新聞紙ノ報道スル所ヲ綜合スルニ左ノ如シ

大統領ト會議后 Jones 委員長ハ支那カ米國ノ棉花及小麥ノ購買ニ便スル爲米貨五千萬弗ノ高ノ信用ヲR、F、C、ヨリ支那ニ許容スルコトニ關シ支那共和國々民政府トR、F、C、トノ間ニ協議成立セルコトヲ公表セリ

右ノ中約五分ノ四ハ棉花購買ニ約五分ノ一ハ小麥及麥粉ノ購買ニ使用セルルヘク積込船舶ハ主ニ米國々籍船タルヘシ支那側ノ代表者ハ米國ノ公市場ニ於テ隨時前記商品ノ必要ナル購買ヲ爲スヘシ

支那ニ米國棉花及小麥ヲ賣却スルコトニ關シテハ數ヶ月間考量中ナリシカ今回本協定成立セルモノナリ  
右貸付ハ米國市場ヨリ過剩額ヲ控除スルト共ニ之等商品ニ對スル支那ノ消費ヲ増進シ支那ニ於ケル經濟活動ヲ助長シ廣ク世界ノ經濟回復ニ貢獻スルカ故ニ雙方ノ利益ナリト信ス

右借款ハ年賦償還ニシテ期限三ヶ年利子五分トシ擔保及借入ニ關スル詳細ニ關シR、F、C、ヨリ公表セラレタル附屬ステートメントニ依レハ支那ニ對スルR、F、C、ノ貸付金ニ對スル擔保ハ卷煙草稅、麥粉稅、棉糸稅、マツチ稅、其他ヲ含ム各稅總額ヲ第一擔保トシ右額ハ一九三二年ニ於テ米貨二千二百萬弗ニ上レリ

該商品カ製造又ハ消費ノ目的ヲ以テ倉庫ヨリ取出サルマテハ該商品ニ對スル留置權ハ米國及支那ニ於ケル倉荷證券又ハ其他ノ證書ニヨリ留保セルルヘシ(本項ノ意味ハ商品

ノ引渡ヲ爲ササル迄ハ倉荷證券、船荷證券等ヲ債權者ニ於テ保留シ居ルヲ以テ二重ノ貸付擔保ヲ要求スルノ要ナク即チ該商品ニ對スル留置權ハ該證券ニヨリテ留保セルルヘシトノ意味ト解セラル)右商品引渡ノ際一割ヲ現金ニテ支拂ヒ一割五分ヲ九十日拂ヒトシ殘額ハ三ヶ年賦拂トス支那側ハ米國積出港ヨリノ總テノ運賃其他ノ諸掛ヲ支拂フヘシ  
前記ハ新聞電報ノ報スル所ナルカ右五千萬弗ノ貸付許與ニヨリテ支那側カ購入シ得ヘキ棉花及小麥ノ高ヲ現在ノ相場ニヨリテ見積ルトキハ棉花九十萬俵小麥千二百五十萬ブツシエルニ上ルヘシト云フ

該協定ニ於テハ何州產ノ商品ヲ購入スヘキヤヲ明示シ居ラサル如キモ當地方當業者ニ於テハ前例モアリ小麥ハ主トシテ西北部產ノ過剩品ヲ輸出スルモノナリト解シ居リスポートランドニ於ケル市價ヨリモ一ブツシエルニ付十仙乃至十二仙安ナルヲ以テ對支輸出ノ見込アリ昨年度西北部地方ニ於ケル持越額ハ三千萬ブツシエル(平年ハ千萬ブツシエル)ニ上レルヲ以テ支那側ノ買付ハ西北部ノ農業者ニ好影響ヲ與フヘシト報シ一般新聞論評亦本協定ノ成立ヲ贊成

シ居レリ尤モ支那側カ市場ニ於テ本品ヲ購入ストセハ其買入値段ハ市場ニヨラサルヘカラサルヲ以テ單ナル經濟の見地ヨリスレハ濠洲產、加奈陀產ノ競爭並爲替相場等ノ關係モアリト雖モ若シ事實新聞報道ノ通りナリトセハ惟フニ本商議ニハ米國側トシテハ農業救濟案、インフレーション政策、對支經濟政策等ヲ含ミ又支那側トシテハ政府資金ノ撙出策、支那紡績及製粉工場保護等ノ政策ヲモ含ミ居ルモノナルヘク旁々支那側代表者カ如何ナル値段ニテ買付クヘキカハ注意ヲ要スル點ナリ將又我方トシテハ從來我商人ノ手ニヨリテ當國市場ニ於テ買付ケラレタル之等原料品カ直接支那側ニヨリ買付ケラルコトハ本邦乃至支那ニ於ケル邦人經營ノ紡績及製粉業者トシテ深甚ノ注意ヲ要スル點ナルヤニ思考セラル

右報告申進ス

本信寫送付先 在英、米、滿各大使、在支公使、在北平公使

館、在紐育總領事、在ポートランド領事

~~~~~

378 昭和8年6月8日 在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)

棉麦借款の成立は蔣・宋連立政府安定に資するとの陳彬龢の内話について

上海 6月8日後発  
本省 6月8日後着

第三二五號

七日陳彬龢ノ館員ニ對スル談話左ノ通

「今次ノ對米棉麥借款成立ハ専ラ米國ノ對内的打算ニ依ルモノナルコト勿論ナルモ他方之ニ依リ北支停戰協定成立以來漸ク擡頭シ來レル國民政府内ノ親日論者ノ出鼻ヲ挫キ以テ宋子文等ノ親米派ノ立場ヲ強化シ支那側ニ對シ米國尙頼ムヘシトノ感ヲ與ヘタルハ否ムヘカラス

「最近陳公博側近者ヨリノ聞込ニ依レハ宋ハ渡米直前蔣、汪等ニ對シ支那ハ今後米國及聯盟ノ援助ヲ藉リテ滿洲事變ニ依リ中絶セル「ライヒマン」ノ支那啓發計畫ヲ復活シ以テ日本ニ對抗スヘシト主張シ一同ノ支持ヲ得タル趣ナルカ本借款モ此ノ經緯ニ依ルモノナランカ

「蔣、宋關係ニ付テハ從來ヨリ兎角ノ噂アリ北支停戰協定成立ニ際シテモ蔣カ黃郛、張群等ノ意見ヲ援用シ宋子文一派ノ主張ヲ無視シタルハ事實ナルモ其ノ勢力保全ノ見地ヨ

件で立法院通過について

南京 6月17日後発  
本省 6月17日後着

第三三六號

十六日ノ立法院ハ米棉麥購入借款ニ對シ左ノ條件ヲ附シ之ヲ通過シタリ

「本借款ハ管理委員會ニ於テ保管、支配及監督ノ責ヲ負フ其ノ委員ニハ政府ヨリ五院々長ト農工商各界ノ推薦セル代表トヲ以テス尙管理委員組織條令ハ別ニ之ヲ定ム

「本借款收入全部ノ用途ハ基本工業ノ創設及其ノ發展ニ伴フ費用、農村經濟ノ復興、水利交通事業ニ局限シ對内用兵其ノ他ニ流用消費シ得サルモノトス

支ヨリ上海ヘ轉報アリ度シ  
支、北平、滿ヘ轉電セリ

380 昭和8年6月24日 内田外務大臣より  
在英國松平大使宛(電報)

棉麦借款に関するアデイス見解に対し横浜正金銀行に我が方意見回答振り指示について

リセハ蔣、宋兩人ハ結局不可分ノ關係ニアリ停戰協定ト云ヒ對米借款ト云ヒ其間何等矛盾無キ筈ニテ今次借款ノ成功ハ愈以テ蔣ヲ宋ヨリ不可離ナラシムヘシ此間一部親日論者ハ蔣カ對日妥協ノ方針ニ轉換セル機會ニ對日外交指導權ヲ宋子文一派ヨリ奪取セント策動シツツアルモ右試ハ恐ラク成功セサルヘク事實宋カ財政部長ノ地位ヲ利用シ内外ニ培ヒ來リタル牢平タル信用並ニ彼ヲ廻ル子良、子安ノ兩弟外人顧問「ヤング」、上海關監督唐海安、財政部次長鄧琳及李調生並ニ張壽鏞(光華大學校長ニシテ事實上宋留守中ノ財政部ヲ主宰ス)等ノ鞏固ナル團結ニハ容易ニ齒モ立タサルヘシ

「今次借款ハ破産ニ瀕セル國民政府ニ對シ「カンフル」注射ノ效ハアルヘク蔣ハ之ヲ利用シテ剿共反蔣運動ノ切崩シ浙江財閥ノ救済等ヲ畫策スヘク何レニセヨ本件ハ直接間接ニ蔣、宋聯立政府ノ安定ニ資スル處鮮カラサルヘシ

滿、北平、南京、天津、廣東ヘ轉電シ、上海ヘ轉報セリ

379 昭和8年6月17日 在南京日高總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

棉麦借款は使途を国内建設事業に局限する条

別電 六月二十四日発内田外務大臣より在英國松平大使宛第一六二號

アデイス見解に同意する旨の右回答振りについて

本省 6月24日後5時50分発

第一六一號

(一)對支借款團「アデイス」ヨリ倫敦正金支店ニ對シ米國RFCノ對支棉麥借款ニ關スル情報ト共ニ(イ)本借款ハ公募セラレス從テ借款團規約ニ違反セサルコト(ロ)借款團ハ關係國政府ノ完全ナル支持ヲ受ケ來レルニ今般 governmental instrumentalityタルRFCノ競争ニ遭遇セルハ豫期セサリシコト但本借款ハ人道的目的ニ出ツル由ニ付借款團トシテハ批評ヲ避クルモ(イ)「ア」トシテハ統稅カ擔保トナリ支那ノ全般「リコンストラクション」ニ必要ナル支那ノ一般收入ニ分散ヲ來スハ遺憾ナルコトノ三點ノ意見ヲ述ヘ日本銀行團側ノ意見ヲ承知シタキ旨申出タリ(本件「アデイス」來信寫倫敦支店ヨリ本電轉電先所

在支店ヘ送付セシメラレ度シ)

(二)我方トシテハ米國其ノ他ノ列國カ單獨ニ此ノ種對支財政

的援助ヲ今後頻繁ニ反覆スルカ如キコト、ナルハ警戒ヲ要スルモ在米大使來電第五四三號又ハ米宛往電第一四九號(米ヨリ英へ郵送済ノ筈)等ニ鑑ミルモ將又R、F、C、ノ權限カ農産物金融ニ限ル點ニ鑑ミルモ今後此ノ種投資カ輕々ニ反覆セラルルモノトハ思考シ難ク又我方ニ於テモ寺内内閣時代ノ一億圓借款昭和七年ノ朝鮮銀行ノ對滿洲國借款等ニ關シ公募セラレサルヲ理由トシテ借款團ノ容喙ヲ避ケ來レル經緯アルノミナラス今後ト雖モ日支關係ノ轉換如何ニ依リテハ我方ヨリ此ノ種財政的援助ノ必要モアルヘキニ鑑ミ「アデイス」ニ對シテハ正金側ヨリ別電第一六二號ノ通回答スル様指示シ置キタリ

(三)就テハ右(二)ノ次第御含ノ上正金支店ニ對シ累次往電ニ依リ別電中(二)ノ(イ)ニ必要ナル情報ヲ供給シ然ルヘク御指導アリ度ク尙(二)ノ(ロ)ノ點ハ本來ハ銀行團トシテ「ア」ニ申入ルヘキ筋合ニ非サルヘキモ我方トシテ重要視シ居ル次第ナリ別電ト共ニ佛へ暗送アリ度シ

米、支、北平へ轉電セリ

(別電)

381 昭和8年7月13日

在英国松平大使より  
内田外務大臣宛(電報)

正金ロンドン支店長よりアデイスに対し棉麦  
借款の問題点を指摘について

ロンドン 7月13日前発  
本省 7月13日後着

第三八七號

貴電第一八一號末段ニ關シ

當地正金支店長野原ヨリ六月二十七日附貴電第一六二號ノ通「アデイス」宛申送り更ニ七月三日同人ハ「アデイス」ニ面會シ

「本件借款ニ關シテハ外人方面ノミナラス支那人間ニ於テモ新聞及實業界ニ反對論多ク之等ハ主トシテ

(一)小麥ハ品質粗惡ニシテ支那政府ハ賣却ニ依リ一割乃至三割ノ損失ヲ免レス交通不便ノ爲奥地ヘノ輸送不可能ニ付救恤ノ目的ヲ達シ難キ一方他ノ地方ニハ内地品潤澤ナレハ結局何等ノ利益ヲ齎サストノ論有ル事

(二)綿物需要ヨリモ遙カニ多量購入スルニ於テハ支那ノ市場ハ停滯シ輸入商ハ脅威ヲ受クヘク且甚タ高價ナレハ政府

本省 6月24日後4時発

第一六二號

正金支店ヨリ「アデイス」ニ對シ

「書面ヲ以テ「ア」意見ノ三點各々ニ同感ノ意ヲ表スルト共ニ「本件借款ニ依ル國民政府ノ所得ヲ同政府カ如何ニ使用スルカニ付種種ノ臆測アリ米國側カ支那側ヨリ右使用方法ニ付何等カノ保證ヲ取付ケタルヤ否ヤハ判明セサルモ本借款カ眞實ニ借款團ノ精神タル支那ノ全般的「リコンストラクション」ノ目的ニ使用セラルルコトハ借款團トシテ希望スヘキ所ナルヘシ」トノ趣旨ヲ附記スルコトニ右回答ト共ニ口頭ヲ以テ

(イ)前記借款所得ノ使用方法ニ關シ種々ノ臆測アルコト

(ロ)「ア」意見中支那一般ノ收入分散ノ點ニ關シ斯クシテ國民政府ノ收入減少スル結果同政府ヲシテ統稅其ノ他ノ引上又ハ新稅ノ措置等取引ノ圓滑ヲ害スル措置ニ出テシメサル様充分警戒ノ要アルコト

ヲ説明シ右二點ニ關スル「ア」ノ注意ヲ喚起スルコト

ハ大損ヲ被ムルヘシ支那政府ハ財的關係有ル綿業者ヲ利スル爲安値ニテ賣下クヘシトノ嚮有ル事

(三)小麥及棉花ノ輸入ハ農産地ニ大打撃ヲ與ヘ小麥粉及綿製品ノ關稅増徴ヲ來スヘキ事

(四)立法院ハ借款手取金ヲ軍事上ノ目的ニ流用セサル條件ヲ附シテ承認ヲ與ヘタルモ右ハ當局ニ於テ遵守スル事無カルヘク政治上ノ不安ヲ増大スルノ虞有リ兵器購入ニ二千五百萬棉花ニ二千萬小麥ニ五百萬ヲ割當ツヘシトノ説有リ又廣東政府ハ政爭ヲ激化スルモノトシテ米國ニ借款延期方電報セリト報セラルル事

「右借款ノ擔保トスル爲稅收中ヨリ毎年多額ヲ振向クル事ハ「アデイス」ノ述フル如ク甚タ遺憾ノ次第ニシテ支那政府ハ一般收入ノ激減ヲ來スニ依リ統稅其ノ他現行課稅ヲ引上ケ又ハ新稅ヲ起シ結局取引ノ圓滑ヲ害スル措置ニ出ツル處有ル事ノ懸念ニ基クモノナリ右ハ最モ重要ノ點ニシテ「アデイス」ノ特別ノ注意ヲ喚起スルモノナリ

トノ趣旨ヲ述ヘ先方ノ希望ニ依リ談話ノ單ナル「アンオフイシアルメモ」トシテ取扱フノ了解ノ下ニ書面ヲ交付シ置キタル由ナリ尙委細ハ七月七日附往信ヲ以テ御承知アリタシ

382 昭和8年7月25日 在中国横竹(平太郎)大使館商務参事官より 内田外務大臣宛

棉麦借款による棉花輸入・販売の取扱い外国商組織の内定および同組織への邦商除外について

商機密第一八〇號 (8月3日接受)

昭和八年七月二十五日

上海駐在商務参事官

横竹 平太郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

米國ノ對支五千万金弗棉麥借款ニ關聯スル米棉輸入シンデゲート組織ノ件

米國復興金融會社ト支那政府代表宋子文トノ間ニ訂結サレタル五千万金弗棉麥借款ノ内容ニ就テハ未ダ詳細スルニ至ラザルモ米支兩當局者ガ屢次發表セシ處ニヨレバ借款金額ノ五分ノ四ガ棉花購入ニ充當サルルヤニ觀測サルルガ其ノ購入棉花數量ハ約九十萬俵ト見積ラレ一九三〇年ノ一九三二年ノ總輸入高平均年約四百萬擔即九十萬俵見當ト匹敵スレバ米國ハ之ニヨリテ輸入棉花ヲ獨占スル形トナルガ、支

那政府當局ニ於テハ之ガ完全ナル統制ヲ期スルタメ種々畫策中ノ處愈々 Sino-American Cotton Syndicate ヲ組織シ輸入並ニ販賣ヲ委任スルコトニ内定セシ模様ナリ該シンデゲートハ當地ニ於ケル有力ナル棉花輸入外商ヲ以テ組織スルモノナルガ内定セル外商ハ

Anderson Clayton & Co., (米商)

Volkart Brothers (瑞西商) Agent of American

Cotton Co-operative Association.

Arnold & Co. (英商) Agent of McHadden & Co.,

ノ三社ニテ宋子文直系ノ中央銀行 General Manager T.M. Hsi. ガ設立ノ衝ニ當リ米人 F.B. Lynch. ガ相談役タリ

然ルニ棉花輸入商トシテノ邦商ノ地位ハ前記三社ニ劣ラザル取扱高ヲ示セルニモ不拘邦商ヲ除外セシコト一二日支兩國ノ政治的關係ニヨルモノニテ其間東洋棉花株式會社ハ米國ノ Southern Product Co. ノ代理店トシテ種々割込運動ヲ試ミタルモノアレ共遂ニ失敗ニ終リタリ、參考ノタメ邦商ノ輸入棉花取扱高ヲ示セバ左ノ如シ

(Season August-July next)

▲米棉

|            | 總輸入高      | 邦商取扱高    | %    |
|------------|-----------|----------|------|
| 一九九〇/一九〇〇年 | 二四九、八三三俵  | 二〇〇、一八六俵 | 八〇、三 |
| 一九〇〇/一九一〇年 | 四七〇、八五〇   | 三六、一八〇   | 七、七  |
| 一九一〇/一九二〇年 | 一、〇七五、五七一 | 五七、三七七   | 四、六  |

▲印度棉

|            | 總輸入高    | 邦商取扱高   | %   |
|------------|---------|---------|-----|
| 一九九〇/一九〇〇年 | 五五、四七四俵 | 三六、六七三俵 | 五、三 |
| 一九〇〇/一九一〇年 | 五九、〇〇一  | 三六、〇八七  | 六、〇 |
| 一九一〇/一九二〇年 | 二四、八六四  | 一〇〇、四七七 | 三、九 |

尙ホ當地ニ於ケル各輸入商ノ一九三二年八月ヨリ一九三三年六月迄ノ輸入高ハ左ノ如シ

|                    |         |                        |        |
|--------------------|---------|------------------------|--------|
| 東洋棉花               | 九四、一五五俵 | Anderson Clayton & Co. | 七、八〇〇俵 |
| Volkart Bros.      | 六、三三六   | 日本棉花                   | 四、七一七  |
| 江 商                | 二五、三三〇  | Arnold & Co.           | 三、五九七  |
| Reiss Massey & Co. | 一、四四〇   | Spunt & Co.            | 一、一五〇  |
| 其 他                | 一〇〇     |                        |        |

而シテ支那ニ於ケル紡績工場用棉花ノ數量ハ年額約九百萬擔ト見積ラレ支那產棉ハ年約八百萬擔内自家用其他ヲ差引ケバ紡績用トシテ約六百萬擔ヲ供給シ得ル故外國ヨリ輸入

ヲ仰グベキ數量ハ約三百万擔即チ八十萬俵見當ナリ、今年度ハ支那棉モ豐作ナレバ印度棉ノ如キハ或ハ輸入激減スルニ至ラン

シンデゲート組織ハ内定シタレ共詳細ハ未ダ決定セザルガ、支那側ノ案ハ支那人紡績廠ニハ直接販賣スルガ日本人紡績廠ニハ直接取引ヲナサズシンデゲートノ指定スル邦商以外ノ外商ヲ經由スル方針ノ如ク之ニ對シテ邦商ガ米棉ノ輸入競争ヲナス場合支那側ガ輸入税ニ於テ差別待遇ヲナサザル限リハ斯カル官業ニ對抗シテ十分競争ノ餘力存スレドモ問題ハ支那側ガ市價ヨリ二割乃至三割ノ犠牲ヲ拂フテモ邦商ノ自由競争ヲ阻止スル腹アリヤ否ヤナルガ右ハ政府收入ニモ多大ノ關係アルコトトテ支那紡績側ガ國產保護ノタメ借款ニヨル原棉ヲ市價ヨリ二三割安値ニテ供給サレンコトヲ運動セシモ未ダ奏效セザルニ觀ルモ尙多少ノ疑問アルガ如シ米棉ノ使用量ハ製品ノ關係上支那紡績ヨリ在支日本紡績ノ方ガ多量ナレバ假リニ自由競争ニヨリ邦商ガ日本人紡績ニ對シシンデゲート同値ニテ輸入供給シ得ルトセバ九十万俵米棉ノ處分ニハ三四年ヲ要スベケレバ支那側トシテハ日本紡績ニモ是非共シンデゲート輸入棉花ヲ使用サセザルベカ

ラザルヲ以テ、勢ヒ邦商ノ競争圏外迄値段ノ切り下ゲヲ行フニ至ルヤモ計ラレズ、ソレニシテモ購買力衰頹ノ現況ニテハ九十万俵ノ消化ニハ二ヶ年ヲ要スルコトト推測サル、然シナガラ輸入棉花ノ價格ヲ切下ゲルコトハ他方支那棉ニ多大ノ打撃ヲ與ヘルト共ニ政府手取ニモ影響スルヲ以テ目下之等ノ對策ニ就キ研究中ナルガ何レシンデゲイトノ内容並ニ販賣方法確定ノ上ハ改メテ通報スベキモ現況御參考迄ニ申進ス  
寫 公使 上海 青島 天津 漢口 紐育 孟買 甲谷陀 商工省

編 注 総輸入高に占める邦商取扱高の割合の数値は計算結果とは異なるが、原文通りとした。

383 昭和8年7月27日 内田外務大臣より 在米国出淵大使宛(電報)

棉麦借款に関する正金よりアデイスへの回答に基づき米國國務省へも我が方立場説明方訓令

本 省 7月27日後9時0分発  
第一九二號

北京支店へモ送付シアリ)  
本電紐育及英へ轉電シ英ヨリ仏へ暗送セシメラレ度シ支及北平ニ轉電セリ

384 昭和8年8月9日 在上海岩井(光次郎)大使館商務參事官代理より 内田外務大臣宛

棉麦借款による棉花の売出しと邦商買付の状況について

商機密第一九六號 (8月15日接受)

昭和八年八月九日

上海駐在商務參事官代理

領事 岩井 光次郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

米國ノ對支借款棉花賣出ノ件

一、七月廿五日附商機密第一八〇號ニテ報告セシ米國ノ對支棉麥借款五千万金弗ノ内棉花輸入ニ關スルシンデゲイト組織ノ件ハ該借款管理委員會主任中央銀行總經理席德茂顧問米人リンチ(元東洋棉花ダラス支店使用人)並ニ外人

英宛往電第一八一號末段ニ關シ

英來電第三八九號ヲ以テ同電アリタル所ニ依レハ倫敦正金支店長ハ英宛往電第一六一號ノ趣旨ニ基キ六月二十七日ヲ以テ「アデイス」宛發狀更ニ七月三日「ア」ニ面會ノ上敷衍説明セル趣ナル處正金側報告ニ依レハ其ノ際「ア」ハ本件借款ハ米國政府ノ締結シタルモノニシテ米國「グループ」ハ關知シ居ラサルヲ以テ借款團トシテ全政府へ何等カ申入レヲ爲サントセハ夫々外交機關ヲ通セサルヘカラサル次第ナルカ自分「ア」ハ右ニ關シ既ニ外務省ニ對シ或種ノ「リプレゼンテーション」ヲ提出シタリト述ヘ尚ホ日本側ニテハ關係各國外務省ニ何等カ申入ヲナス次第ナリヤト質問セルニ依リ野原承知シ居ラサル旨答ヘ置キタル由尚「ア」ハ本件我方ノ見解ヲ佛國「グループ」ニ通知スル旨述ヘ居タル趣ナリ就テハ前記英宛往電第一六一号御參酌ノ上御裁量ニ依リ右我方ノ見解ヲ國務省側ニ可然話シ置カレ度  
本件委細ハ在英大使館ヨリ七月七日附公信ヲ以テ報告セル由ナルニ付(当方ニハ未着ナルモ)貴方ニテハ既ニ御承知カト存スルモ必要ニ依リ七月三日附倫敦正金發本店宛借款第七四號寫紐育支店ヨリ入手ノ上御承知相成度(右寫上海及

辯護士ノ手ニテ約款起草中ナルガ既ニ棉花ハ出廻期節ニ入りタルヲ以テシンデゲイト加入既定 Anderson Clayton & Co., Volkart Bros., Arnold & Co., ノ三社ハ八月一日以來シンデゲイト内規ニヨリ借款棉花ノ賣出ヲ開始シタルガ其ノ販賣方法ハ普通ノ米棉取引條件ニヨルモノニテ目下賣出中ノ分ハ八月中旬迄ニ積出シノモノナルガ夫レニ對シ十月限紐育定期相場ヲ期限内ニ隨意約定スル條件ノ下ニ上海迄ノ船積諸掛並ニ受渡現品品質ノ相異ニ對スル値鞘等ヲ加味シタ標準諸掛ダケヲ先約スル Basis 賣ト現品庫渡銀元建値トノ二様ナルガ三社ノ指値ハ直輸入スルトシテノ採算ヨリ約三分乃至四分ノ安値ナレバ借款棉花ノ販賣方法ヲ懸念シテ新規買付ケ手控中ナリシ邦人棉花商並ニ紡績筋ニ於テモ試ミトシテ買約シ又支那紡績筋モ幾分買付タルヤニテ今日迄ノ賣約數量ハ約三万俵見當時價七百万元其内七割ガ邦人側三割ガ支那側ナルカニ推測サレ居レリ  
ニ、右ノ如キ販賣方法ハ借款成立當時ノ支那紡績筋ノ期待ヲ甚敷裏切ルモノナルガ即チ當時ノ支那棉業界ノ豫想ハ支那紡績ハ製品ノ關係上必ズシモ擔四十二三元ノ支那棉代

385

バ内債發行ノ場合ノ手取金(普通八掛甚シキハ六掛ニテ銀行ニ抵當借入)トヲ比較スルトキハ借款棉花ヲ市價ヨリ四分乃至五分安値ニ賣拔ケル損失位ハ問題ニアラズ、支那紡績筋ガ市價ヨリ二三割安供給ヲ主張スル理由モ此レニヨルモノナリ、サレバ一方輸入棉花ノ處分抄々シク行カズ他方財政上軍政費急需ヲ要スルガ如キ事態來タラシカ或ハ投資ノ舉ニ出デンカモ計ラレザルガ現在ノ處ハ普通ノ棉花取引商習慣ニヨルモノ故着荷後現金ヲ收受シ、借款條件トシテ傳ヘラルル償還期限三ヶ年利率五分ノ期間中ハ賣上代金ヲ財政上ニ融通シ得ルコトトナリ多大ノ利益ヲ受クル次第ナリ

右何等御參考迄ニ申進ス

公使 上海 青島 天津 漢口 紐育 孟買 甲谷他

商工省

昭和8年8月11日

在広東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

棉麥借款により得た資金の使途など時局に關する唐紹儀の談話について

用トシテ擔六十元見當ノ米棉ヲ必要トセザレバ借款米棉ヲ處分スルニハ少クトモ市價ヨリ二三割引キトスベキデ夫レニテモ政府ハ借款金額三年据置ニ對シ遅クモ二三ヶ月後ニハ現金ヲ收受シ得レバ財政上多大ノ利益アリトシ國產保護ノ意味カラ有利ナ條件ヲ期待シ居タルガ、目下賣出中ノ借款棉花ハ僅カニ三分乃至四分ノ安値ニ過ギザレバ借款棉花ニアラズトモ棉花商中ニハ棉花先行見込ノ立テ方ニ依リ此位ノ値段ナレバ賣リ出サントスルモノアル位ノ値段ニシテ而カモ日本人側ニモ同値ニテ販賣シタルコトヲ知ルヤ相當不滿ノ聲アリ宋子文歸國ヲ俟チテ更ニ値段及ビ購入條件等ノ改善ヲ請願セントスル模様ナリ

三、然ルニシンジゲイトノ代理店タル米國商人側ハ借款棉花ノ處分ニハ資産状態不良ナル支那紡績筋ヨリモ寧ロ在支邦人紡績ヲ重要視スルガ故ニ、日支双方ノ間ニ差別ヲ設ケズ又特別ノ安値ヲ提供シテ市價ヲ崩スコトヲ欲セザルモノノ如クナレバ目下ノ處支那紡績筋ハ成行キ觀望ニ出ヅベキ形勢ナリ

四、邦人側買付ハ普通ノ米棉取引條件ナレバ荷受後十日間内ニ現金引取ヲナスニ反シ支那側ノ買付ハ支拂條件ガ一二

ヶ月後ノ猶餘ヲ得居ルニ非ラザルカト推察セルモノアルモ此點明カナラズ

五、尙ホシンジゲイトハ邦人側ニハ直接賣約ヲナサズ中間ニシンジゲイト加入ノ三社ガ夫々各社ノ名義ニテ取引スルモノナレバ從テ手数料ダケ割高ナルハ免レザルガ其率幾何カハ未ダ知ルコトヲ得ズ

六、棉花買付ハシンジゲイト代理店トシテダラスノ Tarratt Steel & Co. ガ市場ニ於テ棉花商ヨリ自由ニ買付スルモノナルガ當地ニ於ケル賣約數量ニ應ジテ買付ケスル方針ナリトモ云ハレ又ターバー社ハ既ニ六万五千俵ノ買付ヲナセリトモ噂サルルガ、當地ノ需要數カラモ亦シンジゲイトノ指値數量カラ見ルモ前記數量位ハ既ニ買付セルモノト觀測サル、當地需要カラ云ヘバ毎月四五万俵ノ入荷ハ差シタル荷賃レトモ思ハレザレバ實需筋ノ豫想ニテハ年内十二万俵時價約二千八百萬元位輸入ヲ見ルナラント云ハルモ、棉麥借款ノ成立ハ米國ニ於ケル農村救済ノ他動的原因モアルガ滿洲事變以來國民政府ハ内債募集ニヨル財政策行キ詰リタレバ窮餘ノ一策トシテ國內ノ農村壓迫デフ輿論反對ヲ押切り宋子文ガ渡米ノ際急遽締結シタルモノナレ

## 第三九一號

広 東 8月11日前発  
本 省 8月11日後着

十日目下滯粵中ノ唐紹儀ヲ往訪シタル處中途ニテ賓客アリ充分交話ノ機ヲ得サリシカ唐ノ談話大要左ノ通

一、目下福建ニ於テ活動セル共匪ハ相當實力アルモノノ如ク十九路軍等ニ於テ一時敗退ヲ餘儀ナクセラレタルハ事實ナリ何分今尙共匪側ノ主力カ何處ニ在リヤ判明セス多少困難ノ事情アルモ兎モ角全線ヲ通シ匪軍ハ後退シツツアルヲ以テ此ノ上心配ノ要ナク漳州、厦門等ノ危險ニ瀕スルカ如キコトハ決シテナカルヘシ

二、陳銘樞、李濟<sup>(陳)</sup>琛ノ香港ニ於ケル行動ハ單ナル一時的ノ合作ニシテ兩者協力シテ廣東ヲ脅スカ如キコト絕對ニナシ又一部人士ノ間ニ於テ噂セラレ居ルカ如ク十九路軍、廣西軍ノ同盟モ目下ノ處想像シ得サル事態ナリ陳銘樞ハ依然陳濟棠ヲ配下視シ居ルモ現實ハ濟棠ハ巨然タル存在ニシテ銘樞ノ力ヲ以テ之ヲ動かスコト能ハス要之當地方ノ政情ハ當分何等變化アルトモ思ハレス

三、馮玉祥ハ遂ニ察哈爾ニ於テ成功セサルカ如クナルカ元來

馮ハ好キ軍人ナレトモ親分肌ノ點ナク部下ニ接スルコト餘  
リニ峻嚴ニシテ多數ノ人心ヲ收攬スルコト能ハス兵ナク金  
ナク腹心ノ部下ナク結局馮ハ大事ヲ遂ケ得ヘキ人物ニアラ  
ス只問題ハ察哈爾ヲ逐ハレタラハ何處ニ身ヲ寄スヘキヤノ  
點ナリ

四、中國ハ必スシモ小麥ヲ必要トスル次第ニハ非サルモ南京  
政府ハ目下金ヲ必要トシ米國ハ小麥ノ過剩ニ苦シミ居リ茲  
ニ宋子文ノ小麥借款成立セル次第ニシテ米國ノ小麥ハ中國  
ニ到來ト同時ニ外商ノ手ニ依リ金ニ換ヘラレ南京政府ノ必  
要ヲ充タスモノナリ假ニ小麥ノ値段多少高値ナリトスルモ  
借款返済迄ノ「クレヂット」期間ヲ考慮ニ入ルトキハ金  
利ノ點ヨリ中國ノ利益ト認メ得ヘク此ノ點ニ於テ宋ハ巧ニ  
立廻リタリト云フヲ得ヘシ但シ茲ニ最モ注意スヘキハ右小  
麥ノ賣揚金ヲ如何ニ使用スルカニシテ恐ラクハ戰爭ノ爲ニ  
用ヒラルヘシト憂慮ニ堪ヘス(此ノ時本官ハ戰爭トハ抗日  
戰等ヲ意味スル次第ナリヤト尋ネタル處唐ハ抗日戰爭ニア  
ラス内戰ナリト斷言シタリ)

五、宋子文歸國ト同時ニ中央政府ノ對外政策ニ何等變化アル  
ヘシトノ豫想モ行ハルルヤニ承知シ居ルモ自分ノ見ル所ニ

托送シ置キタルカ支那側カ本件借款輸入棉花及小麥ヲ如何  
ナル手段ニ依リ市價以下ニテ賣却スルカ即チ輸入税免除ノ  
方法ニ依ルカ又ハ輸入税免除以外ノ方法ニ依ルカ)及右賣  
却後ノ支那政府ノ手取高如何並ニ右賣却ノ棉花及小麥市場  
ニ及ホス影響殊ニ在支邦人企業ノ受クル利害如何等ハ當方  
對策決定ノ上ニモ緊要ナルニ付御調査ノ上結果判明スルニ  
隨ヒ御報告相成度右此段申進ス

387 昭和8年9月2日 内田外務大臣より  
在米國出淵大使宛(電報)

棉麥借款は政治的色彩が濃厚であり中国側の  
以夷制夷の対日政策に利用されるなど多大の  
不満を感じるとの我が方評価通報について

別電 九月一日発内田外務大臣より在米國出淵大使

宛第二一〇号

右我が方評価

本省 9月2日後7時10分発

第二一〇九號

往電第二一〇六號ニ關シ

テハ宋歸朝スルモ從來ノ政策ニ大シタ變化ハ無カルヘク蔣  
介石トノ間ニ仲違ヒヲ生スルカ如キコト萬ナカルヘシ尤モ  
蔣、宋兩人ハ目下ノ處ハ利害相一致シ提携ヲ餘儀ナクセラレ  
居ルモ將來ハ必ス決裂シ兩者相爭フノ日アルヲ疑ハス云々  
支、北平、滿、南京、天津、濟南、漢口、福州、厦門、汕  
頭ニ轉電シ香港ニ暗送セリ  
支ヨリ上海ニ轉報アリ度シ

386 昭和8年9月1日 内田外務大臣より  
在中国有吉公使宛

借款棉麥の売却方法および中国市場に及ぼす  
影響などにつき調査方訓令

亞一機密第七九號

昭和八年九月一日

外務大臣伯爵 内田 康哉

在中華民國

特命全權公使 有吉 明殿

米支五千萬弗棉麥信用取引ニ關スル件

本件ニ關スル當方係官作成ノ調査未定稿ノ儘堀内書記官ニ

累次申進ノ趣旨ノ外五千萬弗信用設定ノ件ニ關スル説示ノ  
資料トシテ當方心付ノ點別電第二一〇號ノ通電報スルニ付  
可然御利用相成度

別電ト共ニ紐育ヘ轉電アリ度シ

別電ト共ニ英、支ヘ轉電シ英ヲシテ土ヲ除ク在歐各大使ヘ、

支ヲシテ南京ヘ轉報セシム

北平ヘ暗送セリ

(別電)

本省 9月2日後9時発

第二一〇號

一、米國側ニテハ本件ハ物品賣込ノ爲ノ信用設定ニ過キスト  
辯明シ居ルモ支那政府ハ五千萬弗丈ケノ棉花及小麥ヲ輸  
入シ之ヲ紡績及製粉業者ニ轉賣シテ得ヘキ代金中ヨリR  
FCニ對シ即時及三ヶ月内ニ支拂フコトヲ要スル二割五  
分ヲ差引キタル殘額大約三千七百五十萬弗(一億四千萬  
元)ヲ三ヶ年間五分利ニテ自由ニ融通シ得ル次第ニシテ  
支那政府ニトリテハ何等普通ノ借款ト異ルコトナク而カ  
モ其ノ使途ニ關シ何等ノ制限ヲ設ケ居ラサルカ如キハ亂

暴モ甚シク(棉花及小麦ノ輸入ハ使途ニ非スシテ信用ヲ實質上借款ニ變更スル手段ニ過キス)從テ之ヲ以テ政治的色彩ノ濃厚ナル借款ニ等シト評スルモ過言ニ非ルヘシ(新借款團成立以來特定ノ事業ニ對スル投資ハ別トシ本件ノ如キ巨額ニシテ且其ノ使途ニ關シ何等ノ制限(假令空名ニモセヨ)ヲ設ケサル借款即チ支那政府カ政費等ニ自由ニ使用シ得ヘキ政治借款ノ成立シタルコトナシ尙ホ該資金ノ使途ニ關シ「ホーンベック」ハ立法院ニ於テ基本工業建築、農村救済、水利交通事業等ニ當ツヘキ旨決議セル事實ヲ指摘シテ支那側ノ自制ニ期待スルカ如キ口吻ヲ洩シ居ルモ(貴電第六四〇號)右決議ハ甚タ漠然タルノミナラス元來此ノ種決議ノ當ニナラサルコトハ苟モ支那ノ事情ニ通スルモノノ首肯スル所ナルヘシ)

ニ、前記ノ如ク使途ノ制限ナキニモ鑑ミ本件資金ノ全部若ハ大部分カ支那政府ノ政費充當ニ利用セラルヘキハ殆ト疑ノ余地ナシ蓋シ國民政府ノ財政ハ内債ニ依リ遺繰リシ來リシコト周知ノ事實ニシテ現ニ一九三一年七月ヨリ三二年六月迄ノ會計年度ノ如キモ歳入不足一億三千萬元(歳出六億八千萬元、歳入五億五千萬元、四月十五日附情一

普通合第三八八號財政報告参照)ヲ内債ニテ補ヒタルカ同年度下半年期ニ於テ從來ノ内債ノ利子引下等整理(六十四議會用亞細亞局第一課調書第二卷第十二章参照)ヲ行ヒテ以來事實上内債ノ新規募集ハ行ヒ得サルコトナリタル經緯アリ旁々本件資金ヲ本年度ノ歳入不足分(上半年期七千三百四十萬元)ニ充ツヘキコトハ想像ニ余リアリ而シテ支那ノ地方政權ハ本件資金カ政費ニ充當セラルヘキコトヲ見越シ早クモ爭奪運動ヲ開始シ居ル次第ニテ現ニ西南派カ頻リニ本件信用ニ反對シ居ルハ右爭奪ノ爲ノ前衛戰ニ過キス又北支政權ハ一ヶ月二百五十萬元ニ上ル政費不足額ノ補給ヲ本件資金ニ求メムトシ居リ又韓復榘ハ黄河ノ水災ニ藉口シ右資金中ヨリ差當リ三百萬元ヲ得ムトシツツアリト云フ

三、將又本件信用ハ統稅ヲ擔保トシ居ル處右收入ハ三年分六千六百萬元弗ニ達スルニ付金額トシテハ充分ナルヘキモ確實ナル擔保ト目シ得サルヘシ蓋シ一九三一年水災ノ際ノ千五百萬「ブツシエル」小麦信用取引ノ擔保タリシ水災附加稅ハ海關ニテ徵收スルモノナルニ付比較的確實ニ米國側ニ對スル償還ニ當テラルル次第ナルモ統稅ハ統稅

署ノ徵收スルモノナルニ付同稅ノ擔保ハ結局鹽稅ノ擔保等ト同様ノ運命ニ陥ルヘク懸念セラル(鹽稅擔保外債ノ不拂額ハ三百萬磅及五千五百萬圓ニ達シ居レリ)殊ニ國民政府財政ノ逼迫ハ前記ノ如クニシテ從テ一年約八千萬圓ニ上ル統稅收入ヲ米國ニ對スル償還ニ當ツルコトハ支那側トシテ堪エ難キ所ナルヘク旁々右懸念ハ一層深クナル譯ナリ又假ニ支那側カ忠實ニ統稅收入ヲ米國側ニ支拂フトスレハ歳入ノ不足ヲ補フ爲統稅ノ引上等ヲナスノ虞アリト云ハサルヘカラス(在英大使宛往電第一六一號及第一六二號參照)(支那側ニテハ(i)最近ノ關稅引上ニ依リ收入ノ増加ヲ見ルトカ又ハ(ii)本件資金ハ之ヲ政費ノ不足ニ充當スルコトナク生産の方面ニ振向ケ利潤ヲ擧ケ得ヘシトカ辯明スルヤモ知レサル處(i)右關稅引上ノ結果ハ却テ收入ノ減少ヲ來シ居ル現狀ナリ況ヤ本年度支那貿易カ前年度ニ比シ減退シ居ルニ於テヤ又(ii)本件資金ヲ生産の方面ニ振向ケ且結局ニ於テ利潤ヲ擧ケ得ルモノト假定スルモ三年間ニテ右目的ヲ達シ得ヘシトハ考ヘラレス況ヤ前記ノ如ク歳入不足ニ充當セラルヘキハ殆ト疑ナキニ於テヤ)

四、要スルニ本件信用ハ支那側ノ以夷制夷の對日策ニ利用セ

ラレ又國民政府内部及地方政權爭奪ノ目的物トナリ支那内政ノ紛糾ヲ來ス外左ナキダニ紊亂ヲ極メ居ル國民政府ノ財政ヲ愈々紊亂スル一方既ニ巨額ニ達シ居ル不確實外債ヲ益々増加シ外支間紛糾ノ種ヲ播ク結果トナルノ處アル次第ナリ將又本件信用ノ結果支那側カ統稅ノ引上ヲナスノ虞アルコト及將來對支不確實債權ヲ全般的ニ整理スル場合ニ必要ナル收入ヲ分散スヘキコトハ前掲在英大使宛往電ノ通ナリ

五、日本ハ支那ニ比シ遙カニ大ナル米國ノ顧客ニシテ殊ニ米綿ノ輸入量ニ至リテハ日本ノ方比較ニナラヌ程大ナリ然ルニ米國側カ棉花等賣捌ノ爲本件信用ヲ與フル結果前記ノ如キ日本ニ取り甚タ好マシカラサル各種事態ノ發生ヲ見ルハ日本トシテ米國ニ對シ多大ノ不滿ヲ感セサルヲ得ス將又本件信用ニ依ル輸入米綿カ支那ニ於テ市價ヨリモ相當割安ニ賣出サレ居ルコトハ在支公使來電第四五五號ノ通ニシテ巨額ノ本件棉花ヲ處分スル爲ニハ今後益々廉價ニ賣却スヘシト認メララル處(或ハ支那政府カ損失ヲ負擔シテ右ノ如キ安賣ヲナス筈ナシト云フモノアルヤモ

知レサルモ右在支公使來電位ノ安賣ニテハ年五分ヨリ稍利廻リ高キ借款ヲナスコトナルニ過キス他ニ募債ノ途ナキ支那政府ニトリ意ニ介スル所ニ非サルヘシ)右ハ普通市價ノ米綿ヲ使用スル本邦紡績業ニ對シ不利ナル「ハンヂキヤツプ」トナル譯ニテ米綿ノ大顧客タリ而モ現金買ヲナス本邦側カ本件信用ノ結果前記ノ如キ不利ノ立場ニ置カルコトハ如何ニモ不合理ト云ハサルヘカラス(尙ホ)以下差当リ貴官限リノ御含ニ止メ置カレ度シ)支那側ニテハ本件米綿ヲ支那人紡績ノミニ賣却スル考ナル由ノ情報モアル處(此ノ場合ハ在支邦人紡績ニモ「ハンヂキヤツプ」ヲ與フル結果トナル)一方本件米綿ハ在支本邦人紡績業者ニ於テ買付ニ應セサレハ少ク共其ノ過半ハ始未付カサルヘキ見込ナリトノコトナリ)

388

昭和8年9月2日 在上海石射總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

外国米輸入の阻止運動ならびに棉麦借款による輸入棉麦の処分問題について

棉麥ノ處分問題ニ關シ種々意見ノ交換ヲ爲シタルカ未タ決定的取極ヲ見ルニ至ラス宋トシテハ輸入棉麥ハ支那入荷後一先ツ之ヲ抵當トシテ銀行團ヨリ借款シ現物ハ其ノ後銀行團ヲシテ漸次賣捌カシメムトスルモノナルカ輸入價格カ必シモ國內市價ヨリ低廉ナラサルコトカ輸入棉麥處分上ノ最大難關トナリ居ル由ナリ  
因ニ宋ハ一日午後十二時當地發列車ニテ南京ニ向ヘリ  
滿、北平、南京、天津、濟南、青島、漢口、福州、廣東ニ轉電シ支ニ轉報セリ

389

昭和8年9月16日 広田外務大臣より  
在英国松平大使(宛)電報  
在米出淵大使(宛)

借款棉麦の処分方法および資金の使途などに  
関する中国側の動向について

本省 9月16日後6時30分發

合第一七四三號

米宛往電第二一〇號ニ關シ

(一)宋子文ハ歸國早々新聞記者團ニ對シ本件棉花ハ既ニ輸入

第三〇五號

上海 9月2日後發  
本省 9月2日後着

一日當地漢字紙ノ報道ニ依レハ支那全國商會聯合會ハ今般國民政府行政院財政部實業部等ニ對シ最近國內ノ食糧穀類價格ノ低落ハ多量ノ外米カ無稅輸入セラルルカ爲ニシテ本年一月ヨリ七月迄ノ海關統計ニ付見ルモ入超二億八千九百五十七萬餘ニシテ輸入品ノ第一位ヲ占ムルハ糧食ノ七千五百四十九萬元ナリ斯ノ如ク外米ノ輸入増加カ國產糧食ヲ壓迫シ價格ヲ低落セシメ農民ヲ苦境ニ陥ラシムルモノナルヲ以テ政府ハ速ニ輸入外米ニ對シ重稅ヲ課シ其ノ輸入ヲ抑止シ農民ノ困窮ヲ救ハレ度シ云々ノ請願電ヲ發シ又同時ニ廣東省政府ニ對シテモ同趣旨ノ請願電ヲ發シタル由ナル處米棉(麥)借款ヲ締結歸來セル宋子文ノ到着直後暗ニ之ニ反對スルカ如キ外國穀類ノ輸入抑止請願電カ全國商會聯合會ノ如キ代表團體ヨリ發出セラレタルハ頗ル皮肉ノ感有リ  
(2)尙新聞報道ニ依レハ本借款第一回米棉ハ九月中旬當地着ノ豫定ニシテ宋子文ハ歸國早々孔祥熙(中央)張公權(中國)陳光甫(上海商業貯蓄)其ノ他當地支那側銀行團有力者ト輸入

ヲ開始セルモ小麥ハ價格ノ點ニ付商議纏マラサル爲未タ積出ヲ見ルニ至ラス本件借款ハ支那ノ建設ヲ目的トセルモノナルヲ以テ棉麥ハ當然支那人ノ工場ニ供給スヘキモノナリ外國人工場ニ轉賣シタルコトハ未タ耳ニセス棉麥ノ用途處分ニ付テハ支那ノ自主的ニ決定スヘキモノニシテ米國當局ト話合タルコトナク政府當局ト慎重ニ研究ノ上決定スル豫定ナリト述ヘタリ

(二)支那側新聞報ニ依レハ宋子文ハ輸入棉麥支那入荷後一先ツ之ヲ抵當トシテ支那銀行團ヨリ借款シ現物ハ銀行團ヲシテ漸次賣捌カシメント計畫シ歸國早々上海支那側銀行團有力者ト會見シ種々意見ヲ交換シタルカ輸入價格カ國內市價ヨリ高價ニシテ輸入棉麥ハ原價ノ八割程度ニテモ賣捌キ得ルヤ疑問ナル爲決定的取極ヲ見サリシ由ナリ又交通銀行周文彬ハ須磨ニ對シ宋ハ本件棉麥ノ處分ニ困惑シ居リ既ニ日本側ニ不賣ヲ聲明シ居ル政府カ近く追々到着スヘキ多量ノ棉麥ヲ如何ニ處分スルヤ見物ナリト内話セル趣ナリ

(三)次テ宋子文ハ廬山ニ赴キ(合第一六九四號)其ノ結果ニ付新聞記者ニ對シ廬山ニテハ自分ヨリ今回ノ外遊ニ關シ詳

細報告シタル後棉麥借款問題ニ付討議シタルカ該借款ハ總テ建設事業ニ用フヘキコト其ノ處置一切ノ全國經濟委員會ニ歸スヘキコト右委員會ノ組織ヲ擴大スルコト等決定セラレタリト述ヘタリ

- (四)孫科モ亦廬山會議ノ結果ニ付新聞記者ニ對シ「日本ニ對シテハ滿洲事件以來被侵略者トシテノ立場ニアルヲ以テ日本カ尙侵略ヲ持續スル限り抵抗ヲ持續スヘキモ抵抗ハ要スルニ實力ノ問題ナルヲ以テ國內經濟ノ復興、國力ノ充實ヲ計ラサルヘカラス故ニ今次ノ棉麥借款モ之ヲ生産事業ニ用フルコトトシ全國經濟委員會ノ組織ヲ擴大シテ本件借款ノ運用、保管、監督ヲ爲サシムルト共ニ聯盟トノ技術的合作ヲ促進セシムルコトナレリ」ト述ヘタリ
- (五)西南派ノ棉麥借款使途公開方通電ニ對シテモ蔣介石、汪精衛連名ニテ右(三)ト類似ノ趣旨ヲ同電セルカ確實ナル情報ニ依レハ棉麥借款ノ利用ニ關シ今回中央ハ西南派ニモ一部均霑セシムルコトニ内定シ西南實力派ニ渡リヲ付ケタル由
- (六)尙宋子文歸國後一千二百萬元利子一割ノ内債成立セルカ右ハ關稅剩餘ヨリ毎月百萬元ヲ償還スルモノニシテ前記(二)ノ通輸入棉麥ヲ擔保トスル交渉失敗セル爲ナル由又右

一、孫科ヨリ最近日本新聞ハ廬山會議其他要人會商ノ度毎ニ日支關係ノ好轉ヲ傳ヘ居ルモ右ハ如何ナル事實ヲ基礎トスルモノナリヤ諒解ニ苦シム次第第二テ塘沽協定以來支那側ニ於テ積極的抗日ヲ止メ居ルハ事實ナルモ右ハ内國ノ疲弊甚シク實力不足ナル爲已ムヲ得サルニ出テタルモノニテ自分始メ心アル支那人ハ依然トシテ日本ニ對シ反感ト疑惑トヲ有シ居ル次第ナリ、廬山會議ニ於ケル宋子文ノ報告ニ依レハ歐米諸國中實力ヲ以テ支那ヲ援助シ吳レルモノハ一モ無ク又聯盟ト雖モ餘リ當テニナラサル趣ニ付蔣、汪及自分等ハ宋ニ對シ總テ徒ニ外國ニ頼ルノ無益ナルヲ説明スルト共ニ一同要スルニ自分ヲ以テ國力ノ充實ヲ圖ルノ外策無キヲ悟リ(棉麥借款、聯盟ノ援助等モ實力回復ノ手段ナリ)之カ爲ニハ當分日本ヲ刺戟スルカ如キ措置ニ出テサルコト得策ナル可シトノ意見ニ一致シタルモノトテ要スルニ前述ノ如キ心理ヲ反映セル一時的ノ便宜ノ措置ニ過キスシテ之ヲ以テ日支關係好轉セリトハ言ヒ難シ九月十八日以前ノコトハ其ノ非支那側ニ在リタランモ其ノ後ノ事ハ何ト觀テモ日本側ノ無理押ナレハ日本側ヨリ一ツ政治の手ヲ打タレテハ如何右手ノ出

内債ハ黃河水災善後費ニ當テラルヘシト稱シ居ルモ災害最モ著シキ山東省ノ政府ノ要求スラ二百萬元程度ナルヲ以テ實際ハ宋留守中各方面ヨリノ遺線ノ穴埋其ノ他ニ用ヒラルモノナリト一般ニ觀測セラレ居レリ

390

昭和8年9月18日

広田外務大臣より  
在米出淵大使  
宛(電報)  
在英国松平大使

中国による列国への財政的援助要請問題に関する孫科および宋子文の見解について

本省 9月18日発

合第一七五二號(極秘)

往電合第一七五一號ニ關シ

支那側對日氣運緩和ノ傾向アル最近ノ現象ニ對スル他ノ一面ノ現象トシテ何等參考迄ニ(一)在支公使來電第五一九號(十二日須磨孫科會談)(二)同第五二二號(十三日堀内宋子文會談)(三)同第五二二號(十二日宋子文ニ面會セル「ヘラルド・トリビューン」記者 Walter ノ須磨ニ對スル内話)何レモ要領左ノ通轉電ス

テサル限り猜疑ハ解ケストテ同時<sup>(何カ)</sup>ニ無ク消氣テ見エタル由右ニ對シ須磨ヨリ唯東洋ニ於ケル日本ノ立場ヲ了解スルコト肝要ニシテ今日トナリテハ滿洲問題ハ暫ク之ヲ問ハス須ク現實ノ事態ヲ直視シ日支間當面ノ障礙ヲ除去シテ具体的ニ誠意ヲ披瀝スルコト必要ナリト酬ヒ關稅問題ニ言及シタルニ孫ハ關稅改正カ立法院ニ廻付ノ際ハ御話ヲ參考トスヘシト答ヘタリ

二、先ツ堀内ヨリ日本ヲ除外シテ外國ノ援助ヲ求ムルノ不可ナルコト支那ハ我方ノ決心及實力ヲ充分諒解シテ其ノ基礎ノ上ニ兩國關係ノ改善ヲ圖ル必要アルコト等ヲ說示シタル處宋ハ自分ハ貴下ノ現實ニ即シタル意見ニハ或ル程度迄ハ同感ナルモ同時ニ自分ハ支那國民トシテ日本ノ滿洲及華北ニ於テ爲シタル行動ヲ深ク遺憾トスルモノニシテ此ノ遺憾ノ念ハ今後何等事態ノ變化ナキ限り消ヘサルモノト思ハル然レトモ今回ノ旅行中ニ於テ一回モ日本ヲ攻撃スルカ如キ言動ヲ爲シタルコトナク今後モ兩國協調ノ爲ニ盡力シタキ意向ナルカ今日ノ處自分トシテハ兩國關係ヲ惡化スルカ如キ事柄ハ爲ササル積リナリト述ヘタリ更ニ堀内ヨリ然ラハ先ツ支那側ニ於テ排日緩和方ノ措

置ヲ執ラルル前ニ於テ少クモ政府自身カ最近爲シタル排日行爲ヲ是正スルコトヲ期待シ居ル次第ナリトテ關稅問題ニ關シ支那側ノ自發的緩和方ヲ期待スル旨ヲ述ヘタルカ宋ハ本問題ニ付充分研究ノ要アリトテ何分ノ意見表示ヲ避ケタリ

三、宋ハ「ウォルター」ニ對シ支那ハ今後外國ノ援助ノ下ニ經濟的建設ヲ圖ル筈ナルカ日本カ滿洲及北支ニ於テ執リタル行動ヲ悔ヒ改メサル限り日本ヨリノ援助ハ受ケス滿洲ハ假令多年ノ歲月ヲ閱ストモ之ヲ回收セサレハ止マサル積ナリ最近巷間ニ傳ヘラルル新對日政策等ハ謂ハハ右最初ノ目的ヲ達成スル爲ノ方便ニ過キス棉麥借款ニ關シテモ「アンダーソン」外二社ニテ棉花賣却方引受濟ナレハ米棉ハ一割五分乃至二割五分引ニテ今後一年長クモ一年四箇月以内ニハ全部處分シテ見セル可ク全國經濟委員會ハ聯盟技術専門家ノ助力ノ下ニ生糸棉桐油水力電氣鑛業等ノ大實業計畫ヲ起ス筈ナリト豪語セル趣ナリ(右ハ外國人ニ對スル宣傳ヲ多分ニ含ミ居ルモノト認メラル)米ヨリ紐育ヘ英ヨリ土ヲ除ク在歐各大使ヘ轉報アリ度シ

トアラハ國論ノ反對ヲ受クルコト必然ナレハ日本紡績ノ本件引受方ニ付今少シク支那政府ノ出方ヲ見ル必要アリト認ム」トノ趣旨ニテ應酬スルコト適當ナル旨ヲ說示シ船津ニ於テハ右ノ趣旨ニテ當業者ノ態度ヲ一致セシムル様盡力中ナルカ邦人棉花商側ニ對シテハ堀内ヲシテ同様說示セシメ置キタリ北平、天津、青島、漢口、南京ヘ轉電セリ

392 昭和8年9月22日 広田外務大臣より  
在米に出淵大使宛(電報)

棉麥借款の内容に関する情報通報および同借款の正確な内容調査方訓令

別電 九月二十二日發広田外務大臣より在米に出淵大使宛第二二七號  
右情報 本省 9月22日前11時22分發

第二二六號  
一、南京來電第四七一號要領御參考迄別電第二二七號トシテ轉電ス同電情報ハ最近支那側ノ或筋ヨリ内密入手セルモノニシテ出所ハ勿論當分ハ内容ニ付キテモ絶對外部ニ洩

391 昭和8年9月19日 在中国有吉公使より  
広田外務大臣宛(電報)

張公權よりの邦人当業者の借款棉引受け方要請  
に対する我が方対処方針指示について

上海 9月19日後發  
本省 9月19日後着

第五三五號(極秘)  
往電第五三二號ノ四ニ關シ

十八日張公權ハ船津ニ對シ借款米棉處分方ニ付支那側紡績ニテ引受ケ難キ内情ヲ前記電報ノ内容ト同一趣旨ニ依リ説明シテ日本紡績側ノ援助ヲ求メ來リ船津ハ即答ヲ避ケ置キタル趣船津ヨリ内報アリタルニ付船津ニ對シテハ本件米棉引受ニ付出來得ル限り之ヲ利用シテ宋子文ノ我方ニ對スル接近ヲ促進セシメ同時ニ支那側ヲシテ排日ノ緩和ヲ計ラシムル様仕向クルコト得策ト思考セララルニ付張ノ申入ニ對シテハ船津ノ思付トシテ「宋子文ノ對日態度ニ付日本國內ニ大ナル疑惑アル今日同氏ニ於テ日本ノ立場ヲ了解シ居ルコトヲ證明シ得ヘキ何等カノ事實(例ヘハ新關稅率ノ緩和ノ如シ)現ハレサル限り我方紡績ニ於テ之ヲ買フカ如キコ

ササル様致シ度シ

ニ右情報ハ其ノ出所ニ鑑ミ相當確實ナルモノト認メラルル處宋子文出發(五月三十日)前ニ成立シタリトシテ RCF ノ公表セル條件ト著シキ相違アリ在支公使來電第五三五號等ノ經緯ヲ生シタルニモ鑑ミ此ノ際出來得レハ貴地ニ於テ同借款、契約ノ正文入手又ハ正確ナル内容探查方御配慮アリ度シ

別電ト共ニ英佛ヘ暗送アリ度シ

(別電)

本省 9月22日前11時12分發

第二二七號

麥棉借款ニ付宋子文ハ滯米中五月十四日附蔣介石及汪精衛ニ宛テ左記條件ノ最後の請訓ヲ爲シタル趣ナリ

(一)借款總額、米貨五千萬弗其ノ中利息、運賃及手数料等ヲ差引キ手取金約四千七百五十萬弗

(二)利率、年七分五厘

(三)用途、借款全額ヲ以テ米國ニ於テ棉花三千四百萬弗小麥一千萬弗及工業機械三百萬弗(此ノ點武器又ハ飛行機ト

モ觀ラル)ヲ購入ス

(四)償還期限、借款成立ノ日より三ヶ年後ニ於テ六期ニ分チ三十年間ニ元利ヲ完済ス

(五)擔保ハ兩國間ノ友誼及政府ノ信用ニ基キ之ヲ免除ス但シ支那政府ハ全部之ヲ資源ノ開發及實業ノ振興等生産事業ニ用フル事トシ右事業實行ニ際シ米國政府ト密接ナル合作ヲ爲ス事並ニ其ノ金融關係ニ付米國政府ハ債權保全ノ爲人ヲ派シテ其ノ保管ニ參與セシメ其ノ收益金ヲ以テ元利ノ償還ニ充テシムル事ヲ得ヘキ附帶條件ヲ有ス

而テ右請訓ニ對シ蔣、汪ハ右「ライン」ニ依リ適宜正式調印方差支ヘナキ旨十六日附同訓ヲ發シタル由

393 昭和8年9月22日 在南京日高總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

廬山會議における棉麥借款の実収分配および  
全國經濟委員會拡大に関する決議について

南京 發  
本省 9月22日後着

第四七五號(極秘)

往電第四七一號ニ關シ

第三次廬山會議(九月六日より八日ニ至ル)決議要項中棉麥借款及經濟委員會ニ關スル部分左ノ通り

一、棉麥借款ノ分配

本借款ニ依リ購入セル棉花三千四百萬弗小麥一千萬弗ヲ輸入後轉賣シテ得ヘキ實收額ヲ一億四千七百九十五萬圓ト見積リ(行政院秘書長褚民誼ハ新聞記者ニ對シ約一億五千萬圓ト發表シ居レリ)右ヲ五分シ大體左記原則ニ依リ分配使用ス

(イ)五分ノ二(五九一八萬圓)水利關係事業

(曩ニ行政院ノ決議ヲ經タル剿匪善後費一六八〇萬圓ハ此ノ内ヨリ流用セラルヘキ旨唐有壬ハ岩松武官ニ内話セル由)

(ロ)五分ノ一(一九五九萬圓)國道敷設ニ關スル事業

(ハ)五分ノ一農業改良及郵電改良事業

(ニ)五分ノ一隴海鐵道及濟兗鐵道延長建設事業

右ハ全國經濟委員會ニ於テ事業ノ完了ヲ考慮シ籌畫實施ヲ爲ス

二、全國經濟委員會ノ組織

蔣介石ハ本會委員長ノ職ヲ辭シ改メテ汪兆銘、孫科、宋

子文ヲ常務委員ニ任シ專ラ全國建設事業ノ籌畫並ニ國內經濟ノ統制ヲ管掌シ十月迄ニ技術處及統計處ノ兩處ヲ設置シ同處ニ於テ聯盟技術顧問ノ工作及國內經濟調査等ヲ指揮監督ス

本委員會ハ組織擴大後行政院ヲ離レテ國民政府ニ直屬シ(彭學沛ノ言ニ依レハ右ハ孫科ヲ常務委員ニ入ルル關係ニ依リタルモノナル由)各院、部、會ノ經濟施設及金融計畫ハ重複ト不統一ノ弊ヲ避クル爲悉ク本委員會ニ於テ審查ヲ爲スコトトス

蘭州ニ本委員會ノ分會ヲ設置シ專ラ西北ノ開發ニ當ラシム  
支、北平、滿ヘ轉電セリ  
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

394 昭和8年9月30日 在中国横竹大使館商務參事官より  
広田外務大臣宛

借款棉の処分行悩みの状況について

商機密第二四二號 (10月11日接受)

昭和八年九月三十日

上海駐在商務參事官 横竹 平太郎(印)

外務大臣 廣田 弘毅殿

借款米棉處分行悩ニ就テ

借款米棉九十萬俵ノ内第一回積出荷一萬一千俵ハ昨日到着セシニモ拘ラス未タ處分方法決定セス、支那紡績筋カラハ國產救済ノタメ市價ヨリ二割安供給ガ強調サレ、之ニ關聯シテ各種ノ憶測市場ニ流布シ一般棉花並ニ綿糸布ノ市場ノ人氣腐レテ秋季需要期ニ入りタレ共當用小口以外ハ商内見送りノ狀況ナルカ此市場不安人氣ヲ一掃スルタメニハ一日モ速カニ米棉處分方法ヲ確定スベキ要アルガ、其ノ容易ニ決セサル理由ハ左ノ如シ

一、販賣機關ノ不統制

國民政府ハ中央銀行内ニ借款棉花辦事處ヲ設ケ棉花販賣機關トシテハ Anderson Clayton & Co. Volkart Bros. Arnold & Co. Ltd. 等三社ニテシンデゲートガ組織サレシ件ハ七月廿五日附商機密第一八〇號並ニ八月九日附商機密第一九六號ニテ報告セシ通りナルガ、右シンデゲート組織サレントスルヤ中國棉花貿易公司(資本五十萬圓其出資額中國銀行半額 永安紡績 申新紡績 其他支

那紡績及ヒ棉花商ニテ半額ハ之ニ加入ヲ運動セシモ米棉取扱ニ無經驗ナリトノ理由ニテ外商側ヨリ體ヨク斷ラレタリ然ルニ借款棉花九十萬俵ノ取扱口錢ガ外商ニ獨占セラルコトニ對スル不平等、支那紡績側カ國產救済ノ名目ニテ内密ナ格安拂下ヲ受ケンガタメニ中棉公司ヲ利用セントスル魂膽等ニテ米棉處分ヲ中棉公司一手ニ取扱ハサレントスル運動アリシモシンデゲイト組織ノ外商ハ既ニ借款棉花取扱ノ手筈整ヒ市場ニ夫々差値ヲ出シテ注文ヲ獲得セシ迄ニ進行セルヲ以テ今更シンデゲイトノ解消ハ不可能ナルノミナス邦人紡績ニモ賣込ミヲナス時機ガ到來セハ之ヲ利用スルコト有利ナレハ結局ニ於テ借款米棉取扱ハ支那側紡績ヘハ中棉公司、邦人又ハ外人紡績ヘハシンデゲイトヲ通シテ賣捌カルルニ至ランカト豫測セラルガ、昨今ハ右シンデゲイト加入外商ハ日本側ガ借款棉花不買ノ態度ヲ持スルタメ借款棉花ト各々自社取扱品トノ二様ニ指値表ヲ別別ニ配布シ居レリ

ニ、支那人紡績ノ業績不良狀態

今次ノ日貨排斥運動ニテ邦人紡製品ハ長江及南支ノ販路ヲ阻止サレシ代リニ排日貨比較的緩漫ナル北支即チ天津

青島及ヒ漢口ヲ中繼トスル長江北部ニ進出セルガ排日貨ニヨリ邦人紡ヨリ一俵二三十元高値ヲ唱ヘシ支那紡製品ハ却テ地場ト長江以南トニ販路ヲ狹メラレタリ、而モ支那紡ノ販路タル四川、江西、福建、廣東等ハ内亂ヤ共匪ニテ農村疲弊シ購買力ハ著シク減殺セリ

支那紡製品ハ邦人紡製品ニ比シ二三十元ノ上値ナリシタメ、紡機用諸用品モ高價ナル英國製品ヲ用ヒ來リシガ昨秋以來市況下落ニ合ヒテハ益々採算出合ハズ且ツ滞貨ハ一時ノ四五倍ニ増加セシタメ操短休業續出シ現在ノ操業率ハ平時ノ五ノ六割ニテ未曾有ノ不況ニ沈倫セルガ其ノ現狀ハ全休中ノモノ 二十四廠 七十三萬鍾

夜業休止ノモノ 四廠 九萬四千鍾

ニテ全支那紡八十九廠二百六十四萬鍾ノ約三割之ニ自由操短ヲ考慮セバ操短率ハ四割以上ト觀ラル

滞貨ハ一九三一年度ハ毎月ノ平均二萬五千乃至三萬俵ナリシガ一九三二年度上半年ハ平均四萬俵下半年ハ平均五萬俵ト増加シ本年ニ入りテハ八月迄ノ毎月平均滞貨十二萬俵ニ上レリ之ヲ平時ノ八割操業ナル邦人紡滞貨毎月平均三萬俵ニ比較セハ如何ニ支那紡ガ販路狹窄シ金融難ニ

陥リツツアルカカ推測サル、現在支那紡ニ對スル支那銀行ノ貸出固定ハ七千五百萬元ニ上ルト稱サレ支那紡ガ借款棉花ノ格安拂下ゲニヨリ窮地ヲ脱セントスルハ當然ノ勢ナリ

三、支那棉花ノ豐作ト米棉消費量

九月ニ入り二回ノ颱風襲來ニテ上海地方ノ棉花被害約一割五分見當ナルカ全支棉產額ハ當地棉花商ノ豫想ニテハ九百三十八萬擔トサレ前年ノ實收六百九十三萬擔ニ比較セハ二百四十五萬擔ノ增收ナリ紡績以外ノ消費量ヲ百五十萬擔ト假算セハ今年度新棉ノ紡績用ニ振當テ得ル數量ハ七百九十萬擔見當即チ約二百萬俵ナリ

△支那ニ在ル紡績廠ノ棉花消費量推定ハ一九三二年度ニ於テハ

|      | 支那棉  | 米棉    | 印棉  | 合計   |
|------|------|-------|-----|------|
| 支那人紡 | 四、一四 | 一、四二  | 二七〇 | 五、八五 |
| 邦人紡  | 八二   | 一、四九  | 三五〇 | 二、七〇 |
| 英人紡  | 四七   | 二五五   | 一八  | 三〇〇  |
| 共計   | 四、六二 | 三、一〇五 | 六八六 | 八、七五 |

(單位千擔)

△一九三二年度米棉消費量地方別 (百廿四萬俵) (七十五萬俵) (十六萬俵) (二百十五萬俵)

|      | 上海    | 青島  | 漢口  | 天津 | 江蘇省 |
|------|-------|-----|-----|----|-----|
| 支那人紡 | 六七〇   | 三三  | 三三〇 | 五〇 | 四〇〇 |
| 邦人紡  | 一、〇〇〇 | 二五七 | 二   | 一  | 一   |
| 英人紡  | 二五五   | 一   | 一   | 一  | 一   |
| 共計   | 一、九二五 | 二九〇 | 三三三 | 五〇 | 四〇〇 |

(四六萬俵) (七萬千俵) (一萬千俵) (一萬千俵) (一萬俵)

註 上海邦人紡ハ上海事變ニテ四十日間停工セリ

△支那產棉高(中華棉業統計會)ト米棉及ヒ印棉輸入高(單位千擔)

|       | 支那棉   | 米棉    | 印棉   |
|-------|-------|-------|------|
| 一九二九年 | 七、四六  | 八九    | 一、三三 |
| 一九三〇年 | 八、八〇  | 一一、四三 | 一、九四 |
| 一九三一年 | 六、三六  | 二、五七  | 一、八二 |
| 一九三二年 | 八、一五  | 三、一〇三 | 四六   |
| 一九三三年 | 一〇、七四 | 九四    | 五四   |

(二月一八月) (二月一八月)

以上ノ統計ヲ見ルニ支那ニ於ケル紡績ガ漸次細番手製品

(欄外記入)

ニ轉向セシ結果米棉ノ輸入増加セルト又一昨年長江大水災ノタメ昨年度ハ米棉ノ輸入激増セシガ農村疲弊購買力減退ニテ支那人紡ハ四割ノ操短邦人紡モ亦二割操短ノ現狀カラ推測スレバ今後一ケ年ノ棉花消費總量ハ或ハ五ノ六百萬擔ニ止マルベク支那棉豐作ノ結果ハ印度棉ノ輸入ハ殆ンド必要無クナリ米棉消費量モ亦減退シテ二百萬擔見當(五十萬俵)ヲ出テザルヤニ觀ラル

サレハ九百萬乃至一千萬擔ト豫想サルル支那新棉(紡績用ニ振向ケ得ルモノ約八百萬擔)ハ必然的ニ生産過剩トナルガ借款米棉ガ格安ニ拂下ケラルルトノ風説ハ極度ニ市場ヲ重壓シ八月初旬擔四十四元ノ相場ハ九月下旬ニハ四〇元ト下落シ尙新棉出廻リ盛トナルニツレ先行悲觀サルルガ印棉不買ノ日本側ガ支那新棉ヲ大量ニ買附スルナラントノ希望ニ辛ウジテ市況ヲ維持シツツアル狀態ナリ、但シ米麥等ノ農産品ガ何レモ昨年度ヨリ三ノ四割安ノ相場カラ見レハ借款米棉無クトモ棉花ハ三十五六元ニ下ガハル勢ヒニアレハ假令支那人紡績側ガ借款棉花ノ格安拂下ヲ待望スルトモ國民政府ガ米棉本國市況ヨリ絶對ニ下値賣却ヲナサズト屢次聲明セザルヲ得ザル實情ニアルナリ

通ニ就テハ既ニ七八千萬元ノ貸出固定セル際支那銀行側力紡績救済ノ實力擧カラヌ買附資金ニ更ニ貸出融通ヲ倍加スル勇氣アリヤモ相當疑問ノ存スルコト、又米棉本國相場ヨリ毎俵二三元割安位ノ拂下ケナラハ外國棉花商ハ十分之ト競争ノ立場ニテ販賣シ得ル可能性アレハ借款棉花ノ處分ハ益々永引クコト等ヲ考慮スルトキハ目下支那政府當局ノ聲明セルカ如キ樂觀ハ容易ニ許ササルモノアリ、サレハ上海ニ於ケル支那人紡ハ勿論邦人紡等モ先行懸念ノタメ原棉花手當ハ二三ヶ月分ニ止メ成行ヲ注視シ綿糸布商モ亦需要期ニ入レルニモ拘ラス當用小口以外ノ買付ヲ手控ヘ市場ニハ一抹ノ陰影漂ツツアル狀況ナリ右何等御參考迄ニ申進ス

寫 公使 上海 青島 天津 漢口 南京 紐育 孟買  
商工省

(欄外記入)

五千萬弗借款ニ依ル米綿輸入量ハ三百三十萬担(九十萬俵)

四、借款米棉賣却ニ關スル支那當局ノ態度

國民政府中央財政ハ毎年一億乃至二億萬元ノ内債發行ニヨリテ財政上ノ遺繰ヲナシ來レルカ滿洲事變以來内債發行不能ニ陥リタレハ昨年度ノ棉麥輸入狀態カラ觀テ宋子文渡米ノ節五千萬弗(約二億萬元)棉麥借款ヲ訂結シタモノナルカ本年度ノ作柄ハ棉花モ小麥モ大豐作ニテ借款成立當時ノ豫測トハ甚シク事情ヲ異ニシテ九十萬俵ノ米棉ト三十萬屯ノ米國麥輸入ハ國產ヲ重壓スル外其ノ處分容易ナラサルコト明白トナリタレハ宋子文ハ數日來支那紡績業者並ニ銀行側ト屢次會商シテ具体辦法ノ協議ヲ進メツツアルカ其ノ根本原則トシテ傳ヘラルル處ハ

(イ)支那棉花ノ市價ヲ維持スルタメ借款棉花賣却ハ一般商取引ニ準シ絶對ニ安價拂下ケヲナササルコト

(ロ)各紡績毎月ノ實需數量ヲ決定シ需要ニ應ジテ買付ヲ行フコト等ナルカ一般商務取引ニヨリ拂下ケルトセハ製品不賣レニテ四割操短ノ支那人紡績ノ消費量ハ一ヶ月二萬俵ヲ出テサルヘク九十萬俵ヲ消化スルニハ四ヶ年以上ヲ要スルヘケレハ賣上資金ヲ以テ建設資金ニ充當セントスル借款ノ目的ニ添ハサルコト又購入資金ノ融

395

昭和8年10月9日 在米出淵大使より  
広田外務大臣宛(電報)

#### 棉麥借款の内容に関する調査結果について

ワシントン 10月9日後發  
本 省 10月10日前着

第七三七號

貴電第二二六號ニ關シ

政府側ハ本件及對露棉花借款ハ通商取引ニ關係スルノ故ヲ以テ既ニ發表済ノモノ以外ノ内容ヲ漏ラササルモ差當リ各方面ヨリ探索シ得タル情報中相當確實ト認メラルル點ヲ累次往電補足旁列記スレハ

(一)本借款ハ合衆國內ノ市場ニテ個々ノ取引成立セル日ヨリ其ノ額ニ付五歩ノ利息ヲ附スルコト(即チ支那政府カ米國內ニテ棉花又ハ小麥ノ買付ヲ爲シタル場合R、F、Cハ支那政府ニ代リ賣却人ニ對シ支拂ヲ爲スト共ニ右支拂額ハ支那政府ニ對スル五千萬弗借款ノ一部ノ具體化サレタルモノトナリ之ニ對シテハ五歩ノ利息ヲ附スルコトトナル次第ナリ)トナリ居ルコト

(二)支那政府ハ買受ケタル棉花、小麥、麥粉ヲ支那ニ於ケル工

場又ハ消費者以外ニ轉賣セサル(コト)ヲ約束シ居ルコト  
(三)現在迄支那政府カ本件借款ヲ利用シタル額ハ約百萬弗ニ  
シテ其ノ大部分ハ棉花購入ニ用ヒラレタルコト  
等ナルカ尙契約ニ依リ(往電第五三九號御參照)支那政府ニ  
於テ現物引取ノ際代金ノ一割及九十日以内ニ一割五分ヲ支  
拂フコトヲ要スルハ事實ト認メラレ從テ支那政府トシテハ  
本件借款ヲ具体化スルニ當リ現金ヲ要スルカ故ニ充分之ヲ  
利用シ得シテ漸ク現在迄二百萬弗程度ノ買付ヲ爲シ得タ  
ルニ過キサルモノナルヤニ察セラル  
追テ「ニューオルレアンス」發閣下宛電報第四二號及第四  
九號ニ依レハ是等ノ地方ヨリ支那向ケ積送濟ノ棉花ハ夫々  
一萬二千俵(英發閣下宛電報第五七三號中ノ一萬一千俵ハ  
此ノ分ニ當ル様認メラル)及四千五百五十俵ナル由ナルカ  
之ヲ時價ニ換算スレハ約八十萬弗餘トナル次第ナリ爲念  
英、佛へ暗送セリ

396 昭和8年10月12日 在天津栗原總領事より  
広田外務大臣宛

天津市商務会による棉麥借款反對運動について

六 中国の欧米における財政的援助要請

(別紙)

本件ハ天津市米業同業公會ノ申請ニ據ルモノニシテ米麥ノ  
價格低落シテ農商民ヲ壓迫スルニ依リ關稅ノ實施ニ依リ民  
生ヲ保護シ破産ニ類セル農村ヲ救済シ疲弊セル五穀業ヲ救  
助サレンコトヲ懇請セントスルモノナリ竊カニ査スルニ世  
界經濟會議ノ我國代表ノ米國ニ赴キ五千萬米弗ノ棉麥借款  
ヲ締結シテヨリ新聞ノ報道ニ據レハ農村復興ノ見地ヨリ當  
局ハ民生ニ注意シ民困ヲ慮ルトナスモ事實ハ之ニ反シ米麥  
一千二百萬石ヲ借り受ケノ調印ノ消息傳ヘラレテ以來我カ  
國市場ノ小麥ト小麥粉ノ値段ハ悉ク慘落シ止ル所ヲ知ラサ  
ルノ趨勢アリ元來本借款成立ハ米國ニ於テ生産ノ過剩ニ對  
スル物價ノ吊上ヲ爲シ農商民ノ救済ヲナサントシ無用ノモ  
ノヲ有益ニ利用セシモノニテ現ニ借款問題ノ未タ發生セサ  
ル本年一月中ニ於ケル米國市場近物ノ小麥價格ハカナダ及  
シカゴニ於テ毎石四十五六仙ナリシカ借款成立後ハ異常ナ  
ル昂騰ヲ見七月中旬後ニ至リテハカナダノ小麥近物價格九  
十四仙シカゴハ一元十六仙ニナリ之ニ依テモ米國ハ其ノ物  
價吊上ノ大成功ヲ收タルヲ見ルヘシ然ルニ我國市價ハ之ト  
正反對ニ之ニ依テ大慘落ヲ來シ上海交易所ノ近物小麥粉ヲ

公信第九二三號

昭和八年十月十二日

在天津總領事 栗原 正(印)

外務大臣 廣田 弘毅殿

天津市商務會ノ棉麥借款反對運動ノ件(要領電報濟)

天津市米業同業公會ハ米國棉麥借款カ元來農村復興ヲモ目  
的セル筈ナルニ拘ハラス其成立後支那產小麥及麥粉ノ暴落  
ヲ招キ本年六月金陵大學農業經濟部ノ發表セル調査ニ依レ  
ハ本年度支那產小麥總量見積三億九千萬擔ニシテ其價格前  
年ニ比シ約銀二元ノ値下リナルヲ以テ結局銀七億八千萬元  
ノ損失ヲ全農村ニ與ヘタルモノニテ穀物商モ之ニ從テ損失  
ヲ受ケ居ル旨ヲ理由トシ九月二十九日附ヲ以テ天津市商務  
會ヲ通シ中央政府ニ對シ別紙譯文ノ通り米國小麥ノ支那へ  
ノ輸入期日延期及之ニ「ダンピング」稅課徵方請願電報ヲ  
發セリ

右報告ス

本信寫送付先 在中公使 北平 上海 南京 濟南

在滿大使

例トセハ借款前ニアリテハ二元五十二三仙ナリシニ借款成  
立ノ消息傳ヘラレルヤ人心動搖シ加フルニ國內ノ小麥收穫  
豐作ナル爲新貨ノ市場ニ現レル頃市價ハ次第ニ低落シ現在  
ニテハ既ニ二元二十五仙ニ迄下落セリ  
將來如何ナル程度ニ及フヤハ豫想ノ限りニアラサルモ上海、  
長江一帶ハ新小麥百斤ノ賣價三元五六十仙ニシテ且販路ノ  
停滯甚タシト云フ蓋シ小麥粉ハ到ル處ニ停滯シ各製粉工場  
購入ノ原料モ十分ニシテ且「ストツク」非常ニ多ク之カ賣  
捌キノ方法無キ爲メナリ若シ更ニ米國小麥ノ實際輸入ヲ見  
ルニ至テハ即チ小麥及小麥粉ノ相場ハ下落シテ止マル所ア  
ラサルヘシ  
今次ノ借款ハ未タ其ノ利ヲ見サルニ先ツ莫大ナル害ヲ蒙リ  
タリ目下カナダノ麥ノ價格ハ八十三四仙トナリ丁度新聞ニ  
登載セラレタル一千二百萬石カ一千萬米弗ニ相當スルノ議  
ニ符合セリ而テ更ニ運賃等ヲ加算セハ百斤ノ價格七元四五  
十仙トナリ之ヲ若シ上海ニ於テ三元六七十仙ニテ販賣セハ  
其ノ損失額已ニ五割以上ニ上ルヘシ  
加フルニ商業ハ疲弊シ相場ノ下落ニ伴ヒ無形ノ内ニ其ノ資  
本ノ減少ヲ來シ之等巨額ノ損失ハ詳細ナル調査ヲ待タスト

モ明ラカナルヘク更ニ本年六月三十日金陵大學農業經濟部ノ發表セシ調査中農村方面ニ付テ論センニ本年我カ國內統計ノ小麥總收穫ハ三億九千萬擔ニシテ之ヲ往年市價ニ比較シテ毎擔約二元販賣價格減トシテ總計七億八千萬元ノ巨額ノ損失トナルヘシ我カ國政府ノ借債ノ目的ハ農村ノ復興ニアリシニ不拘農村ニ水火ノ苦痛ヲ與フルノ結果ヲ召來セリ以上ニ述ヘシ諸點ハ悉ク事實ニ屬スル趣ヲ以テ敝會(商務會)ニ對シ國民政府ニ請願方申出テタリ思フニ此ノ人民ノ困苦ハ借款米麥ノ支那向輸出期限ノ遲延ニ依リ現在ノ過剩ノ狀態ヲ緩和シ得ヘク一方國府紀念週ニ決議セル外國米麥ノ輸入ニダンピング稅ヲ本借款棉麥ニ對シテモ適用スルコトトセハ國產物價モ轉シテ農村ノ復興トナルヘク查スルニ該米業同業公會ノ陳述セル諸點ハ農商兩業ノ眞ノ窮狀ナリ蓋シ外國米麥ノ輸入販賣サルレハ國產米麥壓迫サレ價格低落シテ農經濟ヲ破産ニ頻セシム又生産費ハ悉ク借入レタルモノニシテ收穫ノ後債務逼迫シ價格ノ上騰ヲ待ツテ販賣スル餘裕ナク一方穀物商ハストツク堆積シテ損失ヲ招クヘシ之皆外來米麥ノ供給過多ノ招來セシ結果ニシテ斯クノ如キ狀勢ノ長ク繼續スル時ハ農村ノ破産ノミナラス穀物商亦疲

尙一億元庫券ニ依リ國民政府ニ手取アルヤ否ヤ(貴電第五九〇號及第五九四號參照)ハ國民政府ノ財政延テ支那政局ヲ判斷スル上ニ於テ極メテ肝要ナルノミナラス同時ニ右ハ今後同政府カ資金ノ必要上本件米棉ヲ多量ニ輸入セムトスルヤ否ヤ(多量ニ輸入セハ本邦側ニ買取ヲ求ムル外ナク從テ我方トシテハ何等カ對償ヲ求ムルノ余地モアルヘク反之殆ト輸入ヲナサストセハ棉麥借款ハ事實上失敗ニ歸スル譯ニテ我方トシテハ外力利用ノ無益ナルヲ説示スルニモ利用シ得ヘシ)ニモ關係アルヘシト思考セラルルニ付併セテ此ノ點モ御探查相成度

南京、北平へ轉電セリ

398 昭和8年10月18日

在中国有吉公使より  
広田外務大臣宛(電報)

### 借款棉の処分状況および邦人当業者の動向に

ついて

上海 10月18日後発  
本省 10月18日後着

第六一六號

弊スヘシ茲ヲ以テ國民政府行政院、財政部、實業部ニ呈文ヲ以テ之カ採擇施行ヲ懇請スル次第ナリ

397 昭和8年10月16日

広田外務大臣より  
在中国有吉公使宛(電報)

### 借款棉の処分進捗状況査報方訓令

本省 10月16日後8時発

第二一五號

貴電第五三五號及第五四二號末段並ニ在米大使來電第七三七號末段ニ關シ

米棉處分問題ノ成行ニ依リテハ我對支政策上種々利用シ得ヘキヤニ思考セラルル處同問題其ノ後ノ成行回電アリ度尙十二日貴地UPハ既着第一回分千三百五十俵ノ處分方法ハ全ク不明ナルカ種々復雜ナル事情アリトノ趣旨ノ長文ノ通信ヲ爲シ十三日「アトバタイサ」ニ轉載セラレ居リ又第一回着荷分五千俵ノ中四千俵ハ本月上旬三井物產上海支店ニテ買取ルコトニ決セル旨ノ軍部側聞込モアルニ付前記在米大使來電末段ノ第一回分ノ處分振ヲモ御探查ノ上併セテ回電アリ度シ

貴電第二一五號ニ關シ

一、支那側米棉處分問題ノ成行ニ付引續キ注意中ニテ詳細ハ追テ電報スヘキ處往電第五四二號中綿公司ノ一手引受モ未タ確定セス支那側紡績ニテ一ヶ年十六萬俵引受ノコト(十月七日附機密公第三二六四號拙信末段御參照)モ紡績側ニ於テ政府ノ金融上ノ援助ヲ條件トシ居ル爲未タ確定ニ至ラス結局本件處分問題ハ往電第六一二號綿業統制委員會ノ審議ヲ經タル上ニテ決定セラルルモノト存セラルル尤モ當地邦人當業者ニ於テハ在華紡及棉花商トモ尙一ヶ月位ハ手當ヲ了シ居リ其ノ間新ニ米棉ヲ買フ必要ナク又借款棉ト其ノ他ノ米棉トノ間ニ値開ナキ爲引續キ往電第五四二號ノ傍觀的態度ヲ持シ居リ從テ貴電前段三井支店(又ハ東棉)ニテ買取云々ハ全然事實無根ニシテ(物產ニハ棉花、棉布部ナラ全部東棉ニテ取扱ヒ居ルコト御承知ノ通り)東棉ノ如キハ現ニ手持品ニ萬俵モアル趣ナリ(右ノ中四千俵ハ八月上旬借款棉タルコトヲ知ラスシテ三會社ヨリ買入レタルモノナルカ當時新聞ニ喧傳セラレタル爲之ヲ右會社手持ノ普通米棉ニ振替ヘタルモノノ如ク右カ噂ノ種トナリタルヤニ存セラル)

國民政府ノ財政ニ付テハ往電第六一八號ノ二ノ如ク今後暫クハ借款棉ノ處分金ヲ當ニセストモ遺繰シ得ルモノト觀測セラル旁今日ニ於テハ我方ノ借款棉不賣ニ依リ往電第五六九號ノ三(ハ)ノ如キ目的ヲ達スルコトハ其ノ望極メテ少キモノト思考セサルヲ得ス加之支那側一般ノ對日空氣ハ其ノ後引續キ好轉ノ趨勢ニアリ當地各方面ニ於ケル商取引モ緩慢乍ラ恢復シ居ル矢先我方ニ於テ前記ノ如ク充分ナル實際ノ效果ヲ豫期シ難キ借款棉不賣方針ヲ表明スルコトハ其ノ反動的惡影響ヲモ覺悟セサルヘカラス將又本邦ニ於ケル印棉不買實行ノ結果トシテ本邦ヨリノ支那棉ノ買取多額ニ上リ之カ爲著シク支那棉ノ市價ヲ吊上ケ居リ其ノ結果支那側ノ借款棉處分ヲ容易ナラシメ居ル關係等ヲ無視シ獨リ在留邦人當業者ニ對シテノミ商賣上多大ノ犠牲ヲ命スル如キハ國策上再考ノ餘地アリト存セラル

以上ノ事情ニ鑑ミ現地ノ事態カ今日ノ儘推移スル場合ニハ借款棉買取問題ハ屢次往電ノ次第ハアルモ暫ク當業者ノ自由ニ委スルコトトシ萬一支那側ニ於テ右處分金ヲ抗日排日ニ惡用スルカ如キ場合ニ改メテ不買方針ヲ命令スルコト可然キヤニ存セラルル處右ニ對シ何分ノ貴見御同示ヲ請フ

三億一億元庫券ニ依リ國民政府ニ幾何ノ手取金アルヤニ付往電第五九〇號及第五九四號ノ關係ヲ辿リ取調ヘタル處右手取金ハ大体二千四、五百萬元程度ナルヘク之ニ往電第五〇五號千二百萬元ヲ加フレハ九月以來國民政府トシテハ約四千萬元程度ノ餘分ノ收入ヲ有シ居レリ右ハ少ク共今後二ヶ月位即チ共匪討伐期間内ノ經費ヲ賄ヒ得ルモノトモ存セラルル處數日前張公權ノ大村ニ對スル内話ニ依レハ右ニテ不足ノ場合ニハ更ニ之レ以上ノ庫券ヲ發行スヘク其ノ場合銀行トシテハ引受ケサルヲ得サル事情ナルヤニ觀測セラル

北平、南京へ轉電セリ

399 昭和8年10月18日 在中国有吉公使より  
広田外務大臣宛(電報)

借款棉不買方針は現地邦商に多大の犠牲を強  
いるため再考方意見具申

上海 10月18日後発  
本省 10月18日後着  
第六一八號

(1) 往電第六一六號ニ關シ

當地邦人當業者トシテハ近ク米棉ノ手當ヲ必要トスルヲ以テ借款棉買取方ニ付其ノ態度ヲ明カニスル必要ニ迫ラレ居ル處右ハ借款棉ト然ラサルモノトノ間ニ値開キ無キ場合ニハ實質的ニ大問題ナラサル可キモ其ノ然ラサル場合ニ於テ(前記綿業統制委員會ニテ處分方法決定ノ上ハ多少ノ値開ヲ生スルモノト存セラル)借款棉不買ノ方針ヲ守ル爲ニハ相當ノ犠牲ヲ拂フ譯ナレハ我方トシテ當業者ニ對シ不買方ヲ命令スルニ當リテハ其ノ效果乃至影響ニ付豫メ充分考量ノ要アリト存セラル

然ルニ支那側ニ於テハ我方ノ借款米棉買取方ヲ希望シ居ルハ事實ナルモ我方ニ於テ之カ買取ニ付關稅問題ノ解決等支那側ノ讓歩ヲ要求スルノ態度ニ出ツルニ於テハ支那側トシテハ強テ我方ノ買取ヲ懇請セス支那側紡績ノ買取丈ケニテ我慢シ夫レ丈ケ建設事業ノ範圍ヲ按配スレハ可ナリトノ態度ヲ採ル可キ事ハ機密公第三六四號拙信宋子文ノ大村ニ對スル談話ノ外數日前大村ヲシテ關稅問題ニ關シ宋子文ニ對シ再考方ヲ懇懇スル様張公權ヲ説得セシメタル際ニ於ケル張ノ談話ニ依ルモ明カナリト認メラルノミナラス

400 昭和8年10月24日 広田外務大臣より  
在中国有吉公使宛(電報)

当分の間借款棉不買方針の継続方訓令

本省 10月24日後7時50分発

第二二一號

貴電第六一八號ニ關シ

借款棉ト普通棉ノ間ニ多大ノ値開ヲ生スル場合ニハ無理ニ當業者ヲシテ不買ノ態度ヲ維持セシムルコト困難ナルヘキモ我方トシテハ出來得レハ棉麥借款ヲ少ク共事實上停止セシムルコト最モ良策ト思考シ其ノ爲メニハ我實業家等ヲ政策的ニ指導スル必要ハ引續キ感シ居ル次第ナル處貴電第六一六號ニヨルモ在華紡ニテ一ヶ月分ノ手當ハ之ヲ了シ居ル趣ニシテ殊ニ貴電第六一九號(二)ニ依レハ當業者ニ於テモ差當リ借款米棉ニハ脅威モ誘惑モ感セサル趣ナレハ事情ハ左迄差迫リ居ルニ非サルヘク又近ク到着スヘキ第二回ハ四千俵程度ノ少量ニテ第三回ハ未タ積出シ居ラサル模様ニモアリ旁々當分ノ間從來(貴電第三四二號)通ノ方針ニテ進ミ支那側ノ出方ヲ注視スルコト然ルヘシト存ス

南京へ轉達アリ度

北平へ轉電セリ  
冒頭貴電ト共ニ青島へ暗送セリ

401 昭和8年11月1日 広田外務大臣より  
在米国出淵大使宛(電報)

棉麥借款は米中両国にとり存続の意義なきも  
のとなりつつあるため同借款解消の機運招来  
につき尽力方訓令

別電 十一月一日發広田外務大臣より在米国出淵大  
使宛第二五六号

借款棉処分の現状について

本省 11月1日後7時發

第二五五號

往電第二〇九號ニ關シ

一、所謂棉麥借款ニ對シテハ借款團ノ立場ヨリ苦情ヲ申立テ  
得ヘキ(往電第一九二號)外往電第二一〇號ノ通り種々不  
都合ノ點アリ其ノ成立ノ甚タ好マシカラサルコト申ス迄  
モナキ處最近各般ノ事情ハ同借款カ米支何レニ取りテモ  
殆ト存續ノ意義ナキモノタルコトヲ證スル次第ナリ即チ

セルモノナルヲ立證スルモノト云フヘシ尙二十九日  
宋子文財政部長及行政院副院長ヲ辭職シ孔祥熙其ノ後  
任ニ任命セラレタル由ノ處是レ又棉麥借款ノ失敗ニ依  
ルコト鮮ナカラスト觀測セラル

(三)將又米國側トシテ棉麥借款ハ過剩棉麥ノ對支賣捌キヨ  
リハ寧ロ市價ノ吊上ニアルモノト察セラルル處棉花及  
小麥等本年四月ニ比シ三割乃至四割高ヲ維持シ居ル現  
狀ニ顧ミルモ又緊急救済法第二〇一條(C)後段ノ趣旨ニ  
鑑ミルモ代金支拂ノ確實性ヲ缺ク本件賣捌ヲ續行スル  
コトハ考物ナルヘシ

ニ、右一ノ次第二顧ミ此ノ際本件借款ヲ名實共ニ解消セシム  
ルコト時宜ニ過スルモノト認メラルルニ付往電第一九二  
號、第二一〇號並ニ本電一ノ(一)乃至(三)及別電第二五六號  
等ヲ參酌シ前記ノ如ク本件借款解消ノ機運ヲ招来スル様  
適宜御盡力相成度(尙ホ往電第二一〇號末段ノ次第アル  
モ必要ニ依リ別電第二五六號ノ(二)在支日本紡績筋ノ態度  
ニ言及セラレ差支ヘナシ尤モ右態度ヲ支那側ノ日貨不買  
等ト比較セラレサル様必要ニ應シテ在支日本紡績筋ニテ  
ハ棉麥借款ニ付種々ナル疑惑アルニモ顧ミ商賣上ノ見地

(一)本件借款ニ依ル輸入棉麥殊ニ棉花ヲ支那市場ニ於テ消  
化スルコト困難ニシテ既着ノ第一回分ノ處分方法スラ  
決定シ居ラサル有様ナルハ九月三十日附上海商務官發  
本大臣宛商機密第二四二號(右寫紐育ヨリ入手アリ度)  
及別電第二五六號(在支公使來電第六一六號及第六一  
九號要領)ノ通ナリ

(二)一方國民政府ニ於テハ宋子文歸國直後黃河水災救済ヲ  
名トスル一千二百萬元ノ内債ヲ成立セシメ(合第一七  
四三號末段)次テ十月初關稅庫券一億元ヲ發行シ銀行  
ニ引受ケシムルコトナレルカ右一億元ノ中大部分ハ  
過去數ヶ月ノ借入金補填ニ當テラルルモ尙ホ二千萬元  
内外ノ手取アル筈ニテ結局同政府ハ合計三千二百萬元  
内外ノ臨時收入ヲ以テ當分ノ間ヲ糊塗シ行カムトスル  
モノノ如シ而シテ國民政府カ相當無理ナル條件ヲ以テ  
敘上内債ノ成立ニ狂奔スルハ棉麥借款ニ依リ資金ヲ融  
通セムトセル宋子文當初ノ計畫カ前記各般ノ情勢ニ顧  
ミ實行困難ナルコトヲ悟リタル結果ナルヤニ解セラル  
ル次第ナリ(因ニ右ハ偶々棉麥借款カ國民政府當面ノ  
窮乏ヲ救フ爲「フリー、マネー」ヲ稼クコトヲ目的ト

ヨリ慎重ノ態度ヲ執リ居ルモノナルヘシトノ趣旨ニテ說  
明セラル、コト適當ト存ス)

尙今後共本件契約ノ真相ヲ探查セラルル一方棉麥積出ノ情  
況ハ機ヲ逸セス電報アリ度此ノ點管下關係領事ニ御指圖  
アリ度)

本電ノミ支、北平、南京へ轉電シ青島へ暗送セリ

本電別電ト共ニ紐育、英、佛へ暗送アリ度

(別電)

第二五六號

本省 11月1日後7時發

(一)往電第二二二號ノ二中綿(同電ニ「中源」トアルハ誤リ)  
公司ノ一手引受ハ未タ確定セス又宋子文ハ大村ニ對シ  
(出所極秘)支那側紡績ニテ一ヶ年十六萬俵引受ノコトニ  
決定セリト語リタルモ紡績側ニ於テ政府ノ金融上ノ援助  
ヲ條件トシ居ル爲未タ確定ニ至ラサル由ナリ尙ホ假ニ右  
十六萬俵ニ決スルモ全額九十萬俵ヲ賣捌クニハ少クトモ  
五六年ヲ要スル理ナリ  
(二)他方在支日本紡績筋ハ何レモ相當ノ手當ヲ了シ居リ當分

米棉買入ノ必要ナキノミナラス借款棉ト普通棉トノ間ノ  
値開キ現在ノ程度(十八日ノ「シンジケート」ノ「クオー  
ターション」ヲ見ルニ手持普通米棉ノ「オフアー」一〇、  
八四又借款米棉トシテノ「スペシアル、オフアー」ハ一  
〇、八二即チ其ノ差二「ポインント」即チ一俵當リ米弗一  
弗見當ナリ但中棉公司ヲ通シ支那人紡績ニ賣捌ク場合ハ  
更ニ多少安値ノ模様ニテハ強ヒテ借款棉ヲ買付クル必  
要ナク旁々借款棉ニ對シテハ引續キ在支公使來電第五三  
五號ノ傍觀的態度ヲ持シ未タ借款米棉ヲ買付ケ居ラサル  
實情ナリ(青島漢口ノ邦人紡績筋モ同様)尙東洋棉花ニテ  
八月上旬借款棉タルコトヲ知ラスシテ「アルノルド」外  
二會社ヨリ先物ヲ買入レタルモ其ノ後右會社ノ手持普通  
棉ニ振替ヘタル由

(三)支那人紡績及日本人紡績側ノ態度以上ノ如クナル爲借款  
棉第一回着荷一萬一千三百五十俵ノ處分ハ今尙ホ付キ居  
ラサルモノノ如ク一方「シンジケート」外商ハ支那側即  
チ中綿公司カ取扱ニ割込ムコトトナレル爲當初ノ獨占計  
畫當外レトナリシノミナラス前記各般ノ情勢ニモ顧ミ借  
款棉引合ニハ非常ニ消極的態度トナレル由

403

昭和8年11月4日 広田外務大臣より  
在中国堀内公使館一等書記官宛(電報)

補助金付米國滞貨小麦の对中国輸出に關しそ  
の実現性および同国市場などへの影響予測に  
つき査報方訓令

本省 11月4日後5時30分發

第二二七號

(一)約四千万「ブツシエル」ニ達スル米國北太平洋岸ノ過剩  
小麦処分ノ爲輸出小麦及麦粉ニ對シ其ノ國際市價ト米  
國々内市價トノ差額ニ等シキ補助金(小麦一「ブツシエ  
ル」ニ付二十仙程度、麦粉モ其ノ割合ニテ補助金アル模  
様)ヲ交付スルコトトナリ(補助金ハ總額七百万弗ヲ限度  
トシ小麦麦粉ヲ通シ三千五百万「ブツシエル」見當ノ輸  
出ヲ補助スル計画ニテ輸出先ハ特定セス但千五百万「ブ  
ツシエル」ヲ支那へ、千万乃至千二百万「ブツシエル」  
ヲ日本へ、其ノ他愛蘭、西班牙、葡萄牙、比律賓等へ輸  
出ノ見込ノ由)之カ爲當業者ノ組織セル輸出協會ハ十月  
下旬一「ブツシエル」七十二仙二分ノ一乃至最高七十七  
仙ニテ相当量ヲ買付ケ賣値「ポートランド」渡五十五仙

402

昭和8年11月1日 在ニュー・ヨーク堀内総領事より  
広田外務大臣宛(電報)

日本側の借款棉購入説に關するラモント問合  
わせについて

ニュー・ヨーク 11月1日後發  
本省 11月2日前着

第二四六號

往電第二四五號會談ノ際「ラモント」ヨリ棉麥借款ニ依リ  
支那ニ輸入セル米棉ノ一部ヲ日本側ニテ購入セルヤノ風聞  
アリタルカ右事實ナリヤト尋ネタルニ付本官ハ支那側ニ  
テハ米棉ノ値上リ支那棉ノ下落等ノ事情ニテ輸入棉ノ始末  
ニ困リ支那側ヨリ日本紡績業者ノ援助ヲ求メ居ル模様ナル  
モ日本側ニテハ種々考慮スヘキ事情モアリ未タ話合付カサ  
ルヤニ承知シ居レリト答ヘ置ケリ

在米大使宛電第二二三號ニ關シ其後ノ成行本官心得迄ニ  
御電報ヲ請フ

米へ轉電セリ

ヲ唱ヘ居タルカ本月一日五十二仙二分ノ一ニテ三万三千  
「ブツシエル」ノ輸出取引(日本向)初メテ成立セル趣ニ  
シテ之ヲ切掛ニ對日賣込ノ氣配ヲ増シ内地へ引合中ノモ  
ノ鮮ナカラサル由ナリ、支那側ハ代表者「レビン」ニ於  
テ協議中ノ由ニテ既ニ五万「ブツシエル」買付ケ商船二  
隻手配中ノ噂アルモ未タ確報ナシ

(二)右補助金付小麦ノ買付ニハ本邦トシテハ小麦價格ノ低落  
惹テハ米價ニ及ホス影響等相當考慮ヲ要スル次第ナルモ  
米國側ニテハ前記四千万「ブツシエル」中約二千五百万  
モ輸出スレハ商況回復ノ目的ヲ達スル趣ニモアリ所謂五  
千万弗借款利用ノ支那向輸出ヲ少ナカラシムル爲ニモ將  
又麦粉ノ輸出ヲ少ナカラシムル爲ニモ成ルヘク小麦ノ儘  
我方ニテ之ヲ輸入セラルル様(此ノ場合麦粉トシテ支那  
其ノ他ニ輸出ノ要アルヘシ)方法ヲ講スルコト然ルヘキ  
ヤニモ思考スル次第ナリ

就テハ前記五十二仙二分ノ一見當ニテ米國小麦ノ支那輸  
入ノ可能性アリヤ及若シ之カ輸入セラルル場合支那市場  
一般及本邦産麦粉ノ對支輸出ニ及ホスヘキ影響等商務官  
ノ意嚮ヲモ徴シ御取調ノ上結果回電アリ度シ

(三)輸出協會側ニテ五十二仙二分ノ一ニハ相当難色アリタル

模様ニ付差当リ夫レ以下ニ著シク下落スルコトナシト觀測セラルルモ濠洲品同値迄ハ一「ブツシエル」当リ補助金ヲ増加スルモ値下ヲ辭セサル意嚮ノ由尤モ支那向輸出ハ借款契約ニ基クヲ以テ日本向現金取引ヨリハ幾分(約十仙)割高トナルヘシトノコトナリ尙米國当局係官内話ニ依レハ一般ニハ小麦ニテモ麦粉ニテモ賣レル方ニテ輸出ノ方針ナルモ対支借款契約ニハ小麦ノ輸出ハ六割麥粉四割ト割合ヲ定メ且第三國ニ轉賣禁止ノ規定アル由委細郵報ス

南京へ轉報アリ度シ  
北平へ暗送セリ

404 昭和8年11月7日 在ポートランド中村(豐一)領事より  
広田外務大臣宛(電報)

### 米中棉麥借款と米國小麥輸出補償との關係について

ポートランド 11月7日後発  
本 省 11月8日前着

トル」商人ニテ上海筋ニ引合ヒ居タルモノアルモ普通現(金)取引ナラハ大差無カリシ爲其儘トナリタル趣ナリ往電第四八號ノ談話ヲ爲シタル者ハ協會重役ニシテ本邦人ノ取引先ニテ相當信ヲ置クニ足ル者ト思ハル差當リ之以上當地ニテ確カムルノ途無キモ差額ノ餘リ大ナルニ鑑ミル時ハ或ハ右差額ノ幾分ハ利息又ハ元金ノ償還ニ當テラルル可キ取極ニテモ存在スルニアラスヤトモ想像セララル更ニ諜報者トシテ使用セル「プロウカー」ヲシテ探ラシメタル處借款ニ基クモノハ華府ト南京トノ直接交渉ニテ成立シ當地ノ支那小麥購入代表者ハ全ク看板ニ過キス又先週末當地代表者ハ華府農務省ヨリ借款ニ基ク取引ニ關シテハ一切口外セサル様嚴重ナル電訓ニ接シタル旨報告シ來リタリ米へ轉電シ紐育「シヤトル」晚香坡へ暗送セリ

405 昭和8年11月20日 広田外務大臣より  
在中国堀内公使館一等書記官宛(電報)

### 借款棉第二回分到着の詳細、処分状況および普通米棉との価格差など査報方訓令

本省 11月20日後8時0分発

### 第五一號

貴電第一〇號ニ關シ

三井購入ノ小麦ニハ何等販賣地域ニ制限無シ支那向小麦ハ流言ニ付真相突メ頗ル困難ナルモ往電第四六號(ハ農務長官代表者カ本官招宴ノ際極秘トシテ語リタルモノニテ當時「マーカンタイル」氏ハ現金取引ト數年先ニ支拂ハル可キ掛賣トヲ同一値段ニテ取扱フコトハ假令殘金ニ利子カ支拂ハルハルトスルモ現金取引者ノ爲ニ不當ナルヲ以テ借款ニ依ルモノハ割高トナル可シト述ヘタリ又本日輸出協會支配人モ本官ニ同様ノ談ヲ爲シ支那向モ借款ニ依ラサルモノハ日本向ト同様ニテ六日「ポートランド」渡ノ値段ハ十一月物五十三仙見當ナリト語リタリ

往電第四八號ノ差額十二仙ハ御來示ノ如ク高キニ失スルカ如キモ「シヤトル」發閣下宛電報第八〇號ニモ値開十仙トアリ又情報ニ依レハ借款ニ基ク小麦ニ付テハ輸出補助金ニ付受クル恩典ハ四割ニ過キストノ説アリ果シテ然ラハ借款小麦ハ補助金ノ六割高(現在ノ補助金ハ平均二十仙見當即チ十二仙高ニテ取引セラレタルニアラスヤトモ推測セラレサルニアラス又前記差額ノアルコトニ着眼シテ既ニ「シヤ

### 第二三八號

往電第二二一號ニ關シ

邦人紡績筋及棉花商筋ニテハ引續キ冒頭往電ノ趣旨ニテ進ミ居ルコトトハ存スルモ第二回分モ既ニ到着セル趣(貴電第六六五號ノ二)ニモアリ又紡績筋ト棉花商筋ト足並揃ハス内外紡績力四千俵ヲ購入セリト稱セラルル旨ノ貴地武官側情報(十一月六日)モアルニ付當業者側指導方此ノ上共御配慮相成度(其ノ後ノ積出ハ往電合第二〇五二號ノ通比較的小量ナルニ付冒頭往電ノ方針變更ノ必要ナシト思考シ居ル次第ナリ)尙左記ノ諸點御取調ノ上結果同電アリ度シ  
(一)第二回分到着ノ時日數量及船名(往電合第一八六七號末段ト相違ナキヤ)

(二)第一回及第二回到着分ノ處置

(三)借款棉及普通米棉ノ賣行兩者ノ市價(商務官來電商第九三號ノ(三)冒頭ハ借款棉ナリヤ)

(四)邦人紡績及棉花商筋ノ米棉手當、借款棉買付ノ希望及必要ノ有無

北平南京青島へ轉電セリ

昭和8年11月25日 在米国武富(敏彦)臨時代理大使より  
 広田外務大臣宛

棉麥借款など中国問題に関する出淵大使とラ  
 モントとの会談要領送付について

機密公第四九三號

(12月26日接受)

昭和八年十一月二十五日

在米臨時代理大使 武富 敏彦(印)

外務大臣 廣田 弘毅殿

支那問題ニ關スル出淵大使「ラモント」會談

要領送付ノ件

本月十日紐育「ジャパン、ソサイテイー」ニ於ケル出淵大使送別會席上同大使ト「ラモント」トノ間ニ爲サレタル支那問題ニ關スル會談要領何等御參考迄別添送付ス右會談ノ内容ハ發表相成ラサル様致シ度ク爲念申進ス

本信寫送付先 在英、佛各大使及在紐育總領事

(別添)

昭和八年十一月十日支那問題ニ關シ「ラモント」ト  
 ノ會談要領

六 中国の欧米における財政的援助要請

味ナルコトヲ肯定シ本使ノ述ヘタル右ノ數字ヲ今一應承リ  
 タシトテ頻リニ興味ヲ以テ之ヲ聴取シ居タリ次テ本使ヨリ  
 滿洲方面ノ事態ニ言及シ貴君ハ嘗テ「コンソルシヤム」就  
 中滿洲ニ於ケル鐵道問題談判ノ爲メ日本ニ赴カレ當時ノ借  
 款團代表梶原氏ト協定ヲ結ハレタルコトアリ尙當時ノ陸軍  
 大臣田中男トモ意見ヲ交換セラレタル様ノコトモアリタル  
 處右協定ニ依リ日本側ニ留保セラレタル吉會線ハ過般愈々  
 完成ヲ見ルニ到リ詳ク言ヘハ會寧ノ少シク北方ニ於テ豆滿  
 江ヲ横切り朝鮮ノ鐵道系ト連絡スル線完成シ早晚羅津ノ築  
 港完成スルニ於テハ同港ト日本本土ノ日本海ニ面スル港ト  
 ノ聯絡ニ依リ東京、新京間ノ交通ハ著シク短縮セラルルコ  
 トトナル次第ナリト語り尙滿洲ニ於テハ馬賊ノ跳梁モ近來  
 ニ於テハ著シク減少シ財政、金融モ段々整頓シ諸事組織的  
 ニ進行シ居ルコトヲ告ケタルニ彼ハ相當興味ヲ以テ聴取シ  
 居リタリ

最後ニ本使ヨリ愈々歸國スルコトナレルモ今後共引續キ  
 日米親善ノ爲メニ最善ノ努力ヲ盡ス積リナリ而テ本使ハ常  
 ニ眞ノ日米親善ハ日支ノ親善ニ伴フコトヲ確信スルモノナ  
 レハ日米親善ト共ニ日支親善ノ方面ニモ力ヲ注ク考ヘナリ

昭和八年十一月十日紐育「ジャパン、ソサイテイー」幹部  
 ニ依リ催サレタル本使送別會ニ珍シク「ラモント」顔ヲ出  
 シ隣席ヲ占メ食事中種々會談ノ機會ヲ得タルカ本使ヨリ過  
 日同人ノ堀内總領事ニ語りタル支那財政諮問委員會案ニ對  
 スル態度ニ謝意ヲ表シ尙進ンテ棉麥借款ニ言及シ小麥ニ付  
 テハ支那カ濠洲及加奈陀ヨリ割安ニ供給ヲ受ケ居ル現狀ニ  
 於テ米國トシテ(國際價格ト國內價格トノ)差額ヲ保證スル  
 等ノ方法ヲ講シ對支輸出ヲ獎勵シ居ル模様ナルモナカナカ  
 困難ナルヘシト思ハルル處棉花ニ到リテハ一層ノ困難アル  
 ヘシト思ハル現ニ自分ノ得タル確實ナル報道ニ依レハ今日  
 支那ニ於ケル紡錘ノ約六割ハ日本人ニ依リテ直接所有若ク  
 ハ投資セラレ居ル關係ニテ事實日本側ノ勢力下ニ在リ英側  
 ノ持ち居ルモノハ約一割五歩ニテ支那人ノモノハ残りノ二  
 割五歩ニ過キス而モ支那人ノ經營シ居ル棉業工場ハ其ノ組  
 織不完全ナルノミナラス機械等モ概シテ劣等ニテ之カ爲メ  
 其ノ使用棉花ハ殆ト専ラ支那又ハ印度棉ニシテ米棉ノ消化  
 力極メテ少ナキ譯ナリ從テ今回ノ借款ニ依リ米國ヨリ供給  
 セル棉花ノ如キモ實ハ支那側ハ持餘シ竊ニ日本商人ニ向テ  
 買收方泣附キ居ル實情ナリト傳ヘタル處彼モ右借款ノ無意

幸ヒ支那側ニ於テモ近來日本ニ對スル態度緩和ノ兆ヲ示シ  
 ツツアルヲ以テ自分モ竊ニ満足シ居レリト告ケ置キタリ  
 尙右談話中貴君ハ過般歐洲ヨリ歸ラレ大統領ニ面會セラル  
 ル都合ト聞キ竊ニ「ワシントン」ニ於テ面會ノ機會アルコ  
 トヲ俟チ居タルカ終ニ來ラレサリシト述ヘタルニ彼ハ自分  
 ハ歐洲ヨリ歸來後今日迄「ワシントン」ニハ行カサリシト  
 言ヒ暗ニ「ホワイト、ハウス」トノ關係至テ阻隔シ居ルコ  
 トヲ示シタリ

407 昭和8年11月30日

広田外務大臣より  
 在米国出淵大使宛(電報)

棉麥借款契約テキストとRFC公表との重要  
 な相違点について

本省 11月30日後9時15分発

第二六七號(極秘)

最近極メテ内密ノ方法ニ依リ棉麥借款契約ノ「テキスト」  
 (英文)ヲ入手セル處(郵送済、出所内容共極秘)貴電第五三  
 九號RFC公表等ト著シク異リ且特ニ注意スヘキ點左ノ通  
 (一)本契約ハ有効期限ハ明年一月二十三日迄トス(緊急救濟

法二〇一條(H)ノ關係ト思ハル)但米國議會ニ依リR F Cノ  
權限ノ延長承認セラレタル場合ハ明年八月一日迄有效トス  
右有効期間内ニ「クレディット」全額ヲ使用セサリシ場  
合ハ勿論支那カ本契約ノ何レカノ條項ニ違反セル場合R  
F Cハ契約ヲ解除シ得

(二)借款額五千萬弗、内米國產棉花購入費四千萬弗、同小麥  
一千萬弗此ノ點發表ノ通ナルモ小麥ニ關シテハ(イ)毎五ヶ  
月ニ小麥ト麥粉六對四ノ割合ヲ維持スルヲ要シ(ロ)前記(一)  
ノ權限延長ノ場合ニ於テモ明年三月一日迄ニ「クレディッ  
ト」ヲ使用スルヲ要シ(棉花ハ明年八月一日迄)(ハ)棉花「ク  
レディット」二分ノ一ヲ使用スル迄ニ小麥「クレディット」  
四分ノ三ヲ使用スルヲ要スル旨ノ規定アリ(從テ支那ハ今  
後當分小麥ノ購入ニ専心スルモノナルヤニ觀測セラル)

(三)支那ハ棉花及小麥ヲ支那ノ人民(People of China)ニ對  
シ社會的經濟的救済トナル様賣却分配スル意嚮ニシテ  
(紐育発本大臣宛電報第二四六号「ラモント」ノ質問及往  
電第二五五号ニ末段括弧内参照)從テ其ノ「アプリシエブ  
ル、アマウント」ヲ原形ノ儘又ハ加工後支那國外ニ輸出  
セサルコトヲ約ス但綿製品ノ南部亞細亞及南洋方面(比

(六)支那ハ米國產棉花小麥及其ノ製品ノ輸入禁止ヲナサス  
(本項ト言ヒ前記(三)末段ト言ヒ殆ト通商條約ニ近キ拘束  
ヲ加ヘ居ル點ハ注意ヲ要スヘシ)  
(七)棉花及小麥ノ半分以上ハ米國船ニ積込ムヘク毎四ヶ月ノ  
積込噸數ニ於テ不均衡ナキヲ要ス  
英、佛、紐育、ポートランド、シアトル、ニユーオルレア  
ンスニ暗送アリ度シ

408 昭和8年11月30日 在中国有吉公使より  
広田外務大臣宛(電報)

借款棉の価格は引下げられたが邦商には依然  
借款棉不買継続方内密説示について

上海 11月30日後発  
本省 11月30日後着

第七〇九號  
貴電第二三八號ニ關シ

借款棉ト一般米棉トハ其ノ後モ左程値開無キ爲邦人紡績及  
棉商共借款棉ヲ買入レタルモノ無キ趣(内外綿ノ買入云々  
ハ内外綿ニテハ全然否定シ居ルモ同業會側ニテハ右ハ或ハ

律賓ヲ除ク)ヘノ輸出ハ自由トス  
(四)償還期限ハ三ヶ年トス但支那ハ更ニ二ヶ年延長ヲ要求ス  
ルコトアルヘシ  
右原則ノ下ニ支那ハ左ノ償還方法ヲ約ス

(イ)棉花購入代金ノ二割五分ハ借入(即チ棉麦ノ購入)後一  
ヶ年以内ニ支拂フ但夫レ以前ニ棉花カ支那ニ於ケル倉  
庫ヨリ搬出セラルル時ハ之ト同時ニ一割ヲ、其ノ後三  
ヶ月内ニ一割五分ヲ支拂フ、殘額七割五分ハ借入ノ時  
ヨリ二年目乃至五年目ニ亘リ分納ス

(ロ)小麥購入代金ハ右ト全然異リ四年目ニ至リ初メテ二割  
五分、五年目ニ七割五分ヲ償還ス(從テ小麥ハ勿論棉花  
ノ購入ニモ差當リ現金ヲ必要トセス貴電第七三七號參  
照、尙小麥ノ支拂條件ハ支那側ニ有利ナルニ付之カ對  
償トシテ借款小麥ヲ現金取引ヨリ割高ニ賣却シ又ハ補  
助金ノ一部ヲ支那側ニ負擔セシムルニ非スヤト觀測セ  
ラル「ポートランド」來電第五八號參照)

(五)擔保ハ五種ノ統稅ノ外菸酒稅印花稅及水災救済五分關稅  
附加稅ヲ含ム尙支那ハ統稅ヲ廢止シ又ハ同稅收入ヲ減少  
セシムルカ如キ稅則ノ變更ヲナササルコトヲ約ス

往電第六一六號末段括弧内東棉ノ場合ト同様ノ次第二テ第  
一回分ヨリ四千俵位ハ買入レタルニ非スヤト述ヘ居タリ  
ノ處數日前ヨリ借款棉ハ一俵ニ付二、五金弗(七、三五銀弗  
見當)丈ケ安ク「オフアー」シ居ル趣(尤モ一般米棉トシテ  
モ通常本國ノ値段ヨリ割出シタル當地値段ヨリ一俵ニ付一  
元位安ク「オフアー」サレ居ル趣ナリ)ニシテ支那商人側ニ  
テハ邦人紡績及棉花商二、三ハ買入レ居ル旨嚮シ居ル趣ナ  
ルニ付紡績側及棉花商ニ對シ差當リ當方ニ相談無クシテ借  
款棉ノ買入ヲ爲ササル様内密ニ説示シ置キタリ

尙當方質問ニ對シ内外綿ハ其ノ後ノ買入無キコトヲ證スル  
爲ニハ契約書ヲ提出スヘシト述ヘ居リ東棉ハ從來共買付米  
綿ハ半數又ハ夫レ以上ハ當地外商ヨリ買入レ居リ十月ニ終  
ル前期ニモ同様ノ程度ニ當地外商ヨリ買入レタルモノ右ハ特  
ニ本社ノ命令モアリ全部借款棉以外ノモノナリト述ヘ居タリ  
貴電其ノ他ノ點ニ付テハ追電スヘシ  
北平、南京、青島ヘ轉電セリ

409 昭和8年11月30日 在中国有吉公使より  
広田外務大臣宛(電報)

借款棉第二回分の到着および処分状況などに関する調査結果について

上海 11月30日後発  
本省 11月30日後着

第七一〇號

往電第七〇九號末尾ニ關シ商務官側ニテ取調分明セルモノ  
左ノ通り

(一)第二回分ハ到着ノ時日十一月四日、數量四四五〇俵、船名 Silver Fir ナリ尙第三回分ハ Fernon 號ニテ十一月十日到着シ數量一千俵ナリ

(二)第一回分ハ大体契約品ナリシヲ以テ引取ラレ各私有倉庫ニ入レラレ居ルモノノ如キモ第二回分以降ノモノハ秘密ニ附セラレ判明セサルモ數量小量テアリ支那人紡績方面ニ賣ラレ居ルモノノ如ク傳ヘラル

(三)最近普通米棉ハ製品綿絲カ福建問題等ニ依リ不振ノ爲賣行不味ニテ市價ハ本國安ト相俟テ一擔上海沖着四十五元見當(實際ハ夫レヨリ一元位安ク賣ルコト多シ)ニ低落又借款棉ハ賣行不如意ニ最近賣焦リ邦人棉花商方面ニ市價ヨリ五十「ポイント」(一擔ニ付二元)安即チ一俵百六十五元

本省 12月14日後7時0分發

第二八一號

往電第二七二號ニ關シ

(一)十二月四日上海借款棉花「エージェント」側ヨリ邦人紡績ニ對シ右往電ノ通ノ安値ニテ「オフアー」シ來リタルモ紡績側ハ引續キ買入方差扣ヘ居ル由ナリ

(二)我方ニ於テ棉麥借款ノ成否ニ重大ナル關心ヲ有スルコト御承知ノ通ニ有之從テ借款棉ノ積出狀況ヲ油斷ナク監視スルコト肝要ナルニ付テハ積出次第遲滞ナク在「ニューオリンス」領事等ヨリ今後共電報アル様致度差當リ同領事ニ對シ同領事來電第五五號追報方御指圖相成度紐育及英ヘ暗送アリ度シ

411 昭和8年12月16日 在中国有吉公使より  
広田外務大臣宛(電報)

借款棉処分に関する宋子文の意向について

上海 12月16日後發  
本省 12月16日後着

第七五三號

トスレハ七元(前記實際ノ安賣値ヨリ約三元五十仙)安ニテ賣リ度キ意向ヲ齎シ居ルモ先安氣構ト本邦官憲ノ注意モアリ商内閑散(商務官發第九三號)(三)冒頭ハ借款ニ非ス(四)邦人紡績ハ最近迄ノ製品ノ賣行良好ニ來年一月物迄ノモノ賣却濟好況ニテ米棉手當モ一月分位迄出來居ルモノノ如ク其ノ數量ハ去ル八月一日ヨリ先物モ入レ約十萬俵出來居ルカ如シ

紡績ハ現在ノ棉ヲ以テスレハ四十二番手撚絲ニテ一俵當リ五十元二十番手ニテ十二、三元ノ利益アリ既ニ手當濟ノコトデモアリ借款棉花買付ノ必要無キモ福建獨立問題及最近製品ノ不振ニ取引所綿絲相場モ下落シタル(脱)製品ニシテ暴落シ支那紡ニ借款棉カ市價ヨリ前記ノ如ク餘程安價ニ販賣セラルルニ於テハ邦人紡ハ競争上不利ノ立場トナルカ如シ

北平、南京、青島ヘ轉電セリ

410 昭和8年12月14日 広田外務大臣より  
在米國出淵大使宛(電報)

借款棉の積出し状況引続き監視方訓令

往電第七二一號ニ關シ

支那側ハ借款棉ヲ安價ニテ「オフアー」シ居ルモ右往電唐ノ談話ニ徴シ財政部ニ於テ金策ノ爲焦リ居ルカ爲ニモ非サル可ク右ハ或ハ宋子文ニ於テ處分ヲ焦リ居ルカ爲ナルヤニモ認メラレタルニ付大村ニ於テ往電第七五二號宋ト會談ノ節當方ノ旨ヲ含ミ邦人當業者トシテハ借款棉不買ニ付何等政府ノ命令ヲ受ケ居ラサルコト勿論ナルカ御承知ノ通當初國內ノ一部ニハ借款棉ヲ買フコトハ支那ノ抗日ヲ援助スル所以ナリトテ反對論擡頭セル爲當業者ハ後難ヲ恐レ安クトモ今ニ買得サルモノナルカ自分ハ今回歸國ノ節右ニ付何トカ政府筋ニ話シ度キ意向ナルカ參考ノ爲借款棉處分ニ對シ貴見承リ度シト述ヘタル處宋ハ借款棉ハ今急ニ處分スル必要モナク今賣レサレハ後日ニ延スモ可ナリト考ヘ居ル次第ナリト答ヘタルノミニテ夫以上深入スルヲ好マサル様見受ラレタル趣ナリ(本件極秘扱)

北平、南京、青島ヘ轉電セリ

412 昭和8年12月27日 広田外務大臣より  
在中國有吉公使宛(電報)

借款小麦に対する輸入税免除の風評に關し眞  
偽確認方訓令

本省 12月27日後8時0分發

第二七三號

貴地邦字新聞ノ報道ニ依レハ借款小麦ニ對シテハ輸入税ヲ免除スル趣ナル処眞相御確メアリタシ

尙小麦粉モ現行税率ノ如キ高率ヲ以テシテハ假令支那小麦粉ノ多少ノ値上リヲ見ルト雖モ輸入ノ餘地無キ模様ナルニ付借款小麦粉ニ對スル税関取扱御留意相成度

上海、商務官へ轉報アリタシ

北平、南京、天津、青島へ轉電セリ

413 昭和8年12月28日

在中国有吉公使より  
広田外務大臣宛(電報)

借款小麦に対する関税徴収状況について

上海 12月28日後發

本省 12月28日後着

第七七三號

貴電第二七三號ニ關シ

商務官側ニテ取調ノ結果左ノ通

借款小麦買約七萬五千噸十隻積ノ内着荷セシ一隻並後荷八隻ハ税金賣手持ノ約定ナルカ最後買約ノ一隻ニハ税金ノ取極ナシ此ノ外明年一月一日ヨリ輸入税徴収ヲ見越シテ買付セシ濠洲、亞爾然丁及米國麥約十一萬七千噸十四隻積ナルカ其ノ内二隻ハ數日前着荷セリ

右ハ何レモ新輸入税發表以前ノ契約ニ成ルヲ以テ目下當地製粉業者ハ之カ免税ニ付財政部ト交渉中ナレトモ財政部ハ既ニ拒絕ヲ言明シ其ノ埋合セトシテハ今後借款小麦買約値段ニ手加減スルコトヲ提議シ其ノ處分ヲ有利ニ導カントセルカ右約十二萬噸ノ輸入税ハ約百二十萬元ノ負擔増加ナルニ之ト反對ニ市況ハ福建問題ニテ取引皆無ナル上借款小麦一千萬米弗ノ内麥粉ニテ十五萬噸位輸入サルヤノ懸念ニ市況ハ不安加ハリ相場ハ麥粉二元三十八仙ヨリ二元八仙ニ支那麥ハ四元四十仙ヨリ四元〇一仙ニ何レモ暴落シ此ノ際借款小麦ノ後買付商談ノ餘地ハ見込ナキモノノ如ク目下ノ形勢ニテハ輸入税ハ結局製粉業者ノ負擔ニ終ルモノナルカニ推測サル

北平、南京、天津、青島ニ轉電シ上海へ轉報セリ

2 欧州における宋子文の諸提案

414 昭和8年6月20日

在仏國長岡大使より  
内田外務大臣宛(電報)

宋子文が仏國外相に對し中国における日本の  
行動を非難との情報について

パリ 6月20日後發

本省 6月21日前着

第二八四號

宋子文十九日倫敦ヨリ來巴、廿日「ボンクール」外相ニ會ヒ支那財政建直シ及經濟開發ノ爲外國ノ資本ヲ歡迎スル所以ヲ述フルト共ニ日支事件ニ言及シ日本ノ遣口ヲ今日ノ儘ニ放任シ置ク時ハ日本ハ北支ヨリ更ニ何處迄進出スルカ豫測ス可カラス其ノ結果ハ支那全土ノ秩序ヲ破壊シ延ヒテハ外國ノ支那ニ有スル權益ヲ侵害スル結果ヲ見ルニ至ル可ク從テ日本ノ右態度ハ結局佛國ノ利益ニモ反スルモノト思考セラルル處佛國ハ依然之ヲ默視スル意向ナリヤト反問セルニ對シ「ボ」外相ハ bonne parole de courtoisie ヲ與ヘタルノミナル趣ナリ

尙宋子文ハ多分廿日午後「グラデーエ」首相ニモ會見ノ上倫敦ニ歸ル豫定ナリト右聞込ノ儘  
壽府大使、米へ轉電セリ

415 昭和8年7月8日

在中国有吉公使より  
内田外務大臣宛(電報)

宋子文とロンドン銀行団との借款交渉に關する  
英字紙の否定的論評について

上海 7月8日後發

本省 7月8日後着

第三九九號

六日倫敦發路透ハ宋子文ト倫敦銀行團トノ借款交渉說アル處右借款ハ英國品ノ購入ニ當テラルヘキヤトノ「レーマー」下院議員ノ質問ニ對シ十日藏相ヨリ答辯アルヘキ旨ヲ報シ居ル處八日「デーリーニュース」ハ右借款說ニ關シ左ノ通論評ヲ加ヘタリ

宋子文自身モ率直ニ支那ノ國際信用薄キコト鐵道借款ノ支拂ノ滞リ居ルコトヲ認メ居レルカ現在ノ不況時代ニ在リテハ金融業者トシテ生産的方面ノ投資ニハ相當賓客ノ態度ヲ